

第

I

編

---

# 市民アンケート調査



# 第1章 調査の概要等

---



# 第1章 調査の概要等

## 1 調査の目的

『(仮称)南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画』の策定に向け、その一環として市民が「地域」の中でどのような暮らしを送りどのような考えを持っているのか等について把握して、計画へ反映させることを目的とする。

## 2 調査の方法

- ・調査区域：市内全域
- ・調査対象：18歳以上の市民
- ・抽出方法：無作為抽出
- ・実施方法：郵送配付－郵送回収法
- ・実施時期：平成30年11月下旬～12月7日（金）

## 3 回収結果

対象者数	有効回収数	有効回収率
1,500人	877票	58.5%

## 4 第I編を読む際の留意点

- アンケート選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 表・グラフ中、整数は回答者数(単位:人)を、小数第1位までの数値は百分率(単位:%)を、それぞれ表している。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数(n)として、小数第2位を四捨五入して算出している。そのため、単数回答形式の回答の合計が100%にならない場合がある。  
また、nが100に満たない場合は百分率(%)を用いて分析を行うことが統計的に正しくないため、分析は実数を用いて行っており、グラフのかわりに表を掲載してその実数が分かるようにしている。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- 年齢等“クロス集計”の表中においては通常、当該項目(年齢など)に関する無回答者がいる関係で、各クロス項目(年齢など)ごとの回答数を足し上げた結果と全体回答者数は、一致しない。



## 第2章 調査結果の説明

---



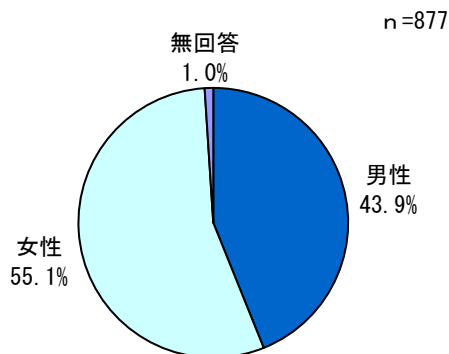


## 第2章 調査結果の説明

### I 対象者自身について

#### ア 性別（1つに○）

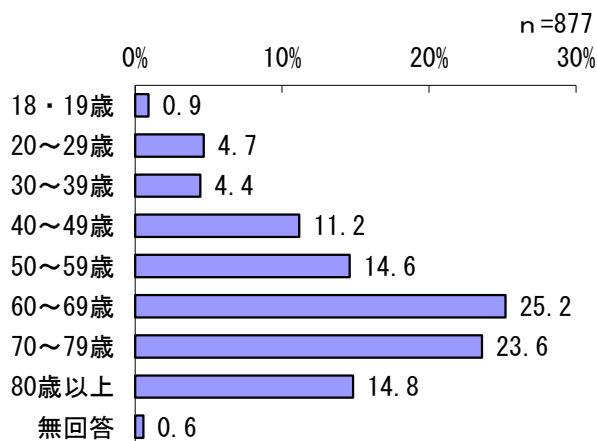
○男性が43.9%、女性が55.1%で、女性がやや多くなっています。



#### イ 年齢（※平成30年11月1日現在）（1つに○）

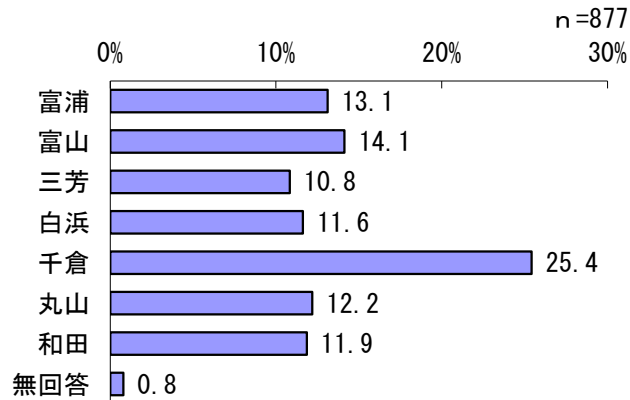
○「60～69歳」（25.2%）が最も多く、4分の1を少し超えています。次いで「70～79歳」（23.6%）が多く、「80歳以上」（14.8%）、「50～59歳」（14.6%）が続いています。

60歳以上の層で6割強を占めています。



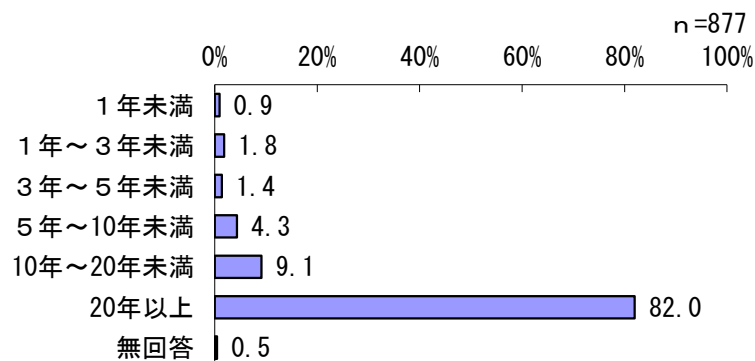
ウ お住まいの地区（1つに○）

○「千倉」（25.4%）が最も多く、「富山」（14.1%）、「富浦」（13.1%）・「丸山」（12.2%）等の順で続いています。



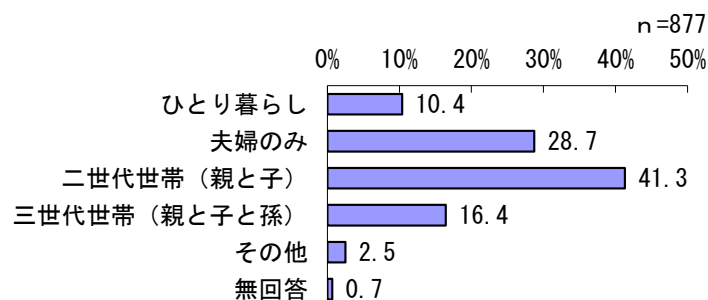
エ 南房総市に、通算して何年住んでいますか。（1つに○）

○「20年以上」（82.0%）という回答が圧倒的に多く、次いで多い「10年～20年未満」（9.1%）を含めると、9割以上が10年以上住んでいることが分かります。



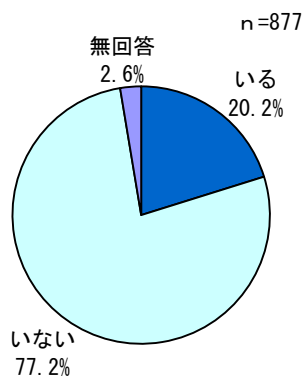
オ 家族構成（1つに○）

○「二世世代世帯（親と子）」（41.3%）という回答が4割を超えて最も多く、次いで「夫婦のみ」（28.7%）が多く、「三世世代世帯（親と子と孫）」（16.4%）が続いています。



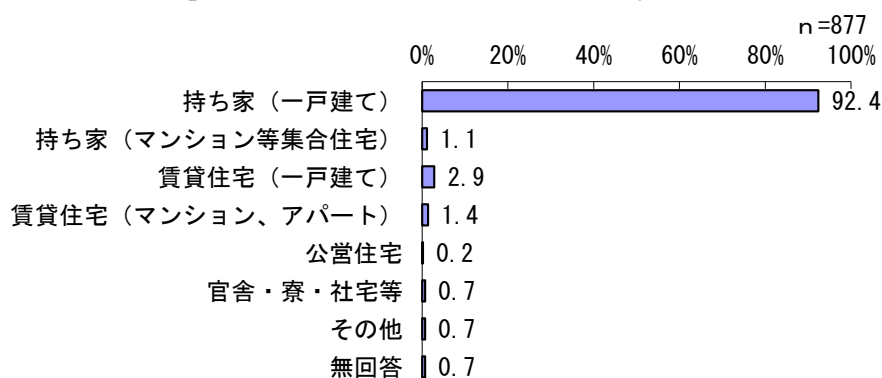
カ 同居している家族に、介護・支援が必要な方がいますか。(1つに○)

○「いる」(20.2%)が約2割、「いない」(77.2%)が7割台後半で、「いない」が「いる」を大きく上回っています。



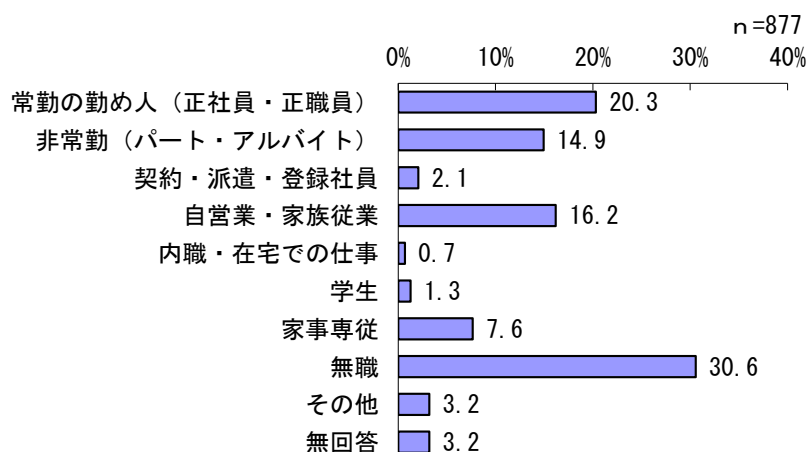
キ お住まいは、次のどれにあたりますか。(1つに○)

○「持ち家(一戸建て)」(92.4%)が9割を超えて圧倒的に多く、次いで「賃貸住宅(マンション、アパート)」(2.9%)が多くなっています。



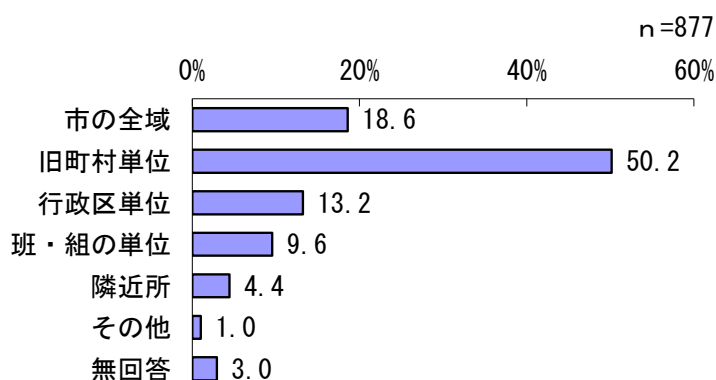
ク 職業(1つに○)

○「無職」(30.6%)という回答が最も多く、次いで多い「常勤の勤め人(正社員・正職員)」(20.3%)を合わせると、過半数に達します。その後、「自営業・家族従業」(16.2%)、「非常勤(パート・アルバイト)」(14.9%)が続いています。



ケ あなたにとって「地域」とは、どの範囲のことだと思いますか。(1つに○)

○「旧町村単位」(50.2%)という回答が過半数に達して最も多く、次いで「市の全域」(18.6%)が多くなっています。



### 【年齢別、居住地区別】

○年齢別でみると、「市の全域」の回答割合が、40歳代以下の層では2割台から3割台と比較的多くなっているのに対して、50歳代以上では1割台となっています。

居住地区別では、富浦、白浜、丸山地区で「市の全域」が2割台で、若干多くなっています。

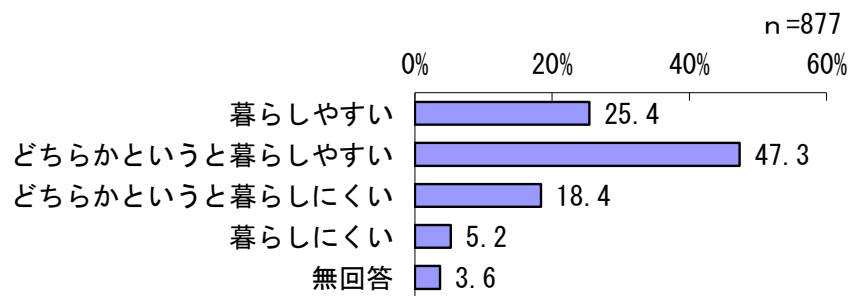
	合計	市の全域	旧町村単位	行政区単位	班・組の単位	隣近所	その他	無回答
全体	877	163	440	116	84	39	9	26
	100.0	18.6	50.2	13.2	9.6	4.4	1.0	3.0
18・19歳	8	3	3	2	0	0	0	0
	100.0	37.5	37.5	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	41	14	18	5	1	2	0	1
	100.0	34.1	43.9	12.2	2.4	4.9	0.0	2.4
30～39歳	39	10	24	3	1	0	1	0
	100.0	25.6	61.5	7.7	2.6	0.0	2.6	0.0
40～49歳	98	36	48	4	8	1	0	1
	100.0	36.7	49.0	4.1	8.2	1.0	0.0	1.0
50～59歳	128	19	78	15	7	5	3	1
	100.0	14.8	60.9	11.7	5.5	3.9	2.3	0.8
60～69歳	221	30	118	38	25	4	3	3
	100.0	13.6	53.4	17.2	11.3	1.8	1.4	1.4
70～79歳	207	37	94	33	20	10	2	11
	100.0	17.9	45.4	15.9	9.7	4.8	1.0	5.3
80歳以上	130	14	56	16	22	15	0	7
	100.0	10.8	43.1	12.3	16.9	11.5	0.0	5.4
富浦	115	23	54	15	15	3	2	3
	100.0	20.0	47.0	13.0	13.0	2.6	1.7	2.6
富山	124	17	68	16	12	7	0	4
	100.0	13.7	54.8	12.9	9.7	5.6	0.0	3.2
三芳	95	18	53	7	14	3	0	0
	100.0	18.9	55.8	7.4	14.7	3.2	0.0	0.0
白浜	102	22	54	8	6	6	0	6
	100.0	21.6	52.9	7.8	5.9	5.9	0.0	5.9
千倉	223	40	105	34	25	9	4	6
	100.0	17.9	47.1	15.2	11.2	4.0	1.8	2.7
丸山	107	25	57	14	5	4	0	2
	100.0	23.4	53.3	13.1	4.7	3.7	0.0	1.9
和田	104	18	47	20	6	7	3	3
	100.0	17.3	45.2	19.2	5.8	6.7	2.9	2.9

## II 居住している地域の状況について

### ◆居住中の「地域」の暮らしやすさ（問1）

問1 あなたがお住まいの「地域」（先問の「ケ」の回答）は暮らしやすいですか。（1つに○）

○「どちらかという暮らしやすい」（47.3%）という回答が最も多く、次いで多い「暮らしやすい」（25.4%）も合わせた“一定以上暮らしやすい”の割合は72.7%と、7割を超えています。

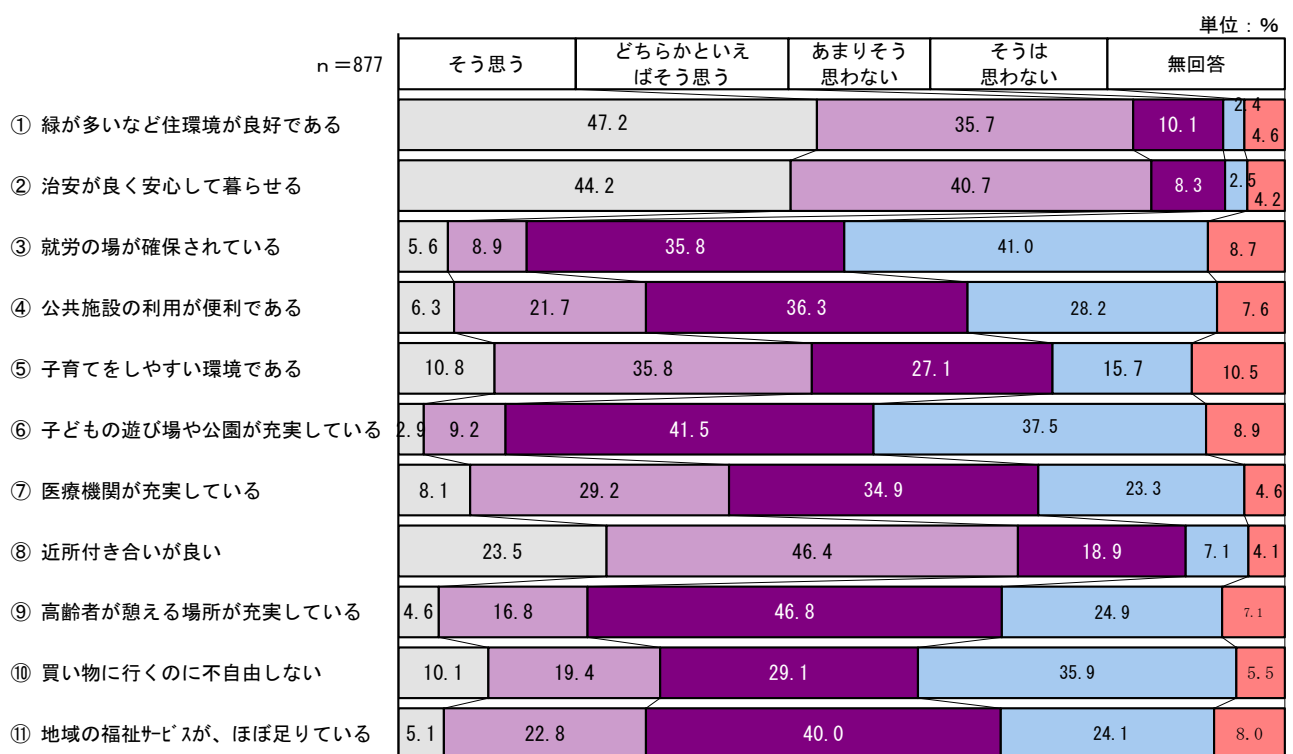


## ◆居住地域の生活環境について（問2）

問2 お住まいの地域の生活環境について、どう思いますか。（①～⑪につき、それぞれ1つずつに○）

○「そう思う」という回答が4割を超えて最も多くなっているのが、“住環境が良好である”と“治安良好で安心して暮らせる”で、「どちらかといえばそう思う」が4割台（46.4%）で最も多いのが“近所付き合いが良い”です。

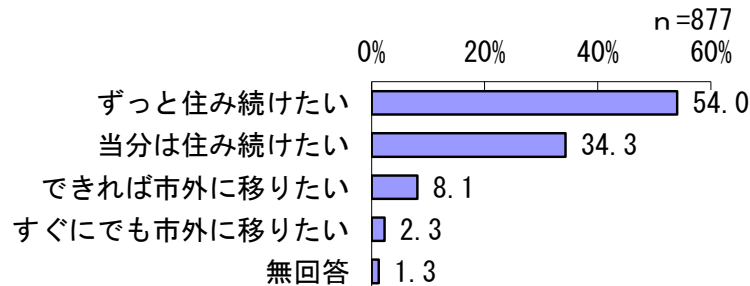
「そうは思わない」が最も多く4割台（41.0%）を占めているのは“就労の場が確保されている”で、「あまりそう思わない」が最も多く4割台なのは“高齢者が憩える場所が充実”、“子どもの遊び場や公園が充実”、“地域の福祉サービスがほぼ足りている”となっています。



## ◆居住地域での今後の居住継続意向（問3）

問3 お住まいの地域に、今後も住みたいですか。（1つに○）

○「ずっと住みたい」（54.0%）という回答が最も多く、次いで多い「当分は住みたい」（34.3%）を合わせると“現時点では住みたい”が88.3%となり、9割近くを占めています。



### 【居住地区別】

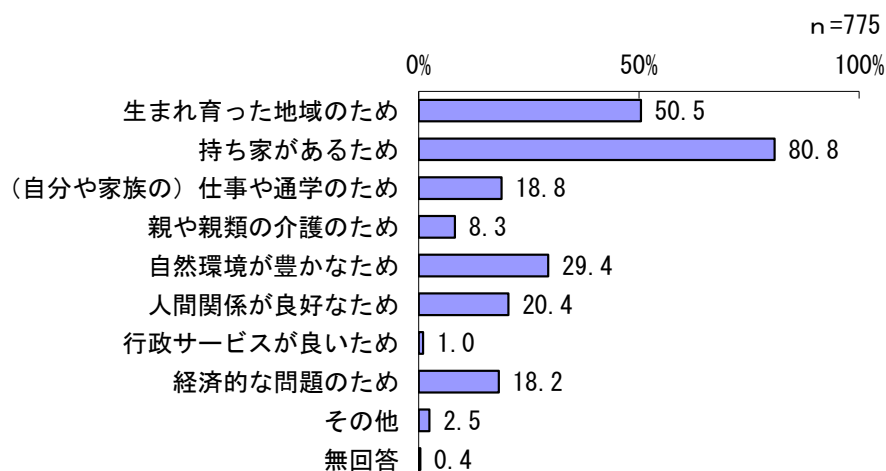
○居住地区別でみると、「できれば市外に移りたい」と「すぐにでも市外に移りたい」の回答割合の合計が、三芳、丸山、和田地区で比較的少なく、1割未満となっています。

	合計	ずっと住 み続けた い	当分は住 み続けた い	できれば 市外に移 りたい	すぐにで も市外に 移りたい	無回答
全体	877 100.0	474 54.0	301 34.3	71 8.1	20 2.3	11 1.3
富浦	115 100.0	65 56.5	34 29.6	12 10.4	2 1.7	2 1.7
富山	124 100.0	67 54.0	43 34.7	11 8.9	2 1.6	1 0.8
三芳	95 100.0	48 50.5	38 40.0	6 6.3	3 3.2	0 0.0
白浜	102 100.0	50 49.0	38 37.3	9 8.8	4 3.9	1 1.0
千倉	223 100.0	114 51.1	80 35.9	20 9.0	5 2.2	4 1.8
丸山	107 100.0	65 60.7	34 31.8	7 6.5	1 0.9	0 0.0
和田	104 100.0	63 60.6	33 31.7	6 5.8	2 1.9	0 0.0

#### ◆市内に住み続けたい理由（問4）

問4 問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分は住み続けたい」と答えた方がお答えください。住み続けたい理由は、次のどれですか。（3つまでに○）

○「持ち家があるため」（80.8%）という回答が最も多く、次いで「生まれ育った地域のため」（50.5%）が多くなっています。



#### ◆市外に移りたい理由（問5）

問5 問3で「3 できれば市外に移りたい」「4 すぐにでも市外に移りたい」と答えた方がお答えください。市外に移りたい理由は、次のどれですか。（3つまでに○）

○「日常生活が不便なため」（91人中60人）という回答が最も多く、次いで「人間関係がわずらわしいため」（同32人）が多くなっています。

No.	選択肢	n	%
1	(自分や家族の) 仕事や通学のため	16	17.6
2	住宅に不満(老朽化)があるため	18	19.8
3	日常生活が不便なため	60	65.9
4	親や親類の介護のため	7	7.7
5	人間関係がわずらわしいため	32	35.2
6	人付き合いがないため	7	7.7
7	行政サービスが使いにくい	20	22.0
8	経済的な問題のため	15	16.5
9	その他	9	9.9
	無回答	0	0.0
	全体	91	100.0
	非該当	786	

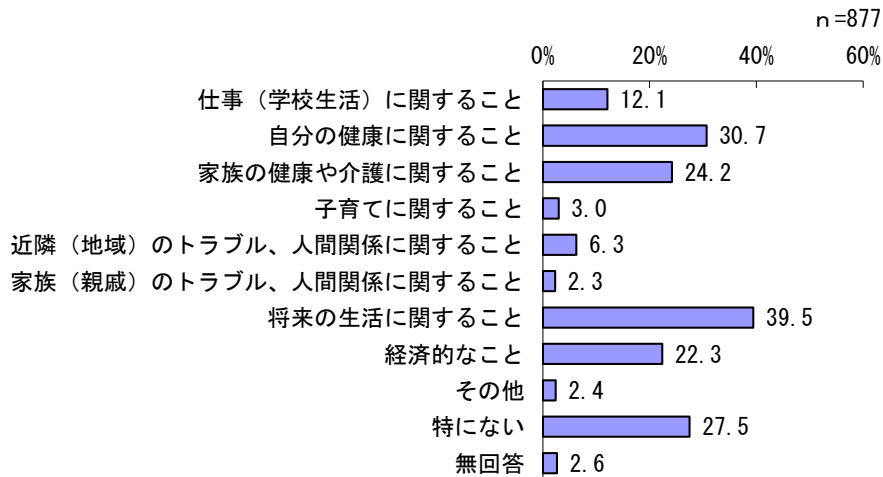


### Ⅲ 日常生活で困っていることについて

#### ◆日常生活での困りごとなど（問6）

問6 日常生活の中で困っていること、悩みを感じていることは、次のどれですか。（3つまでに○）

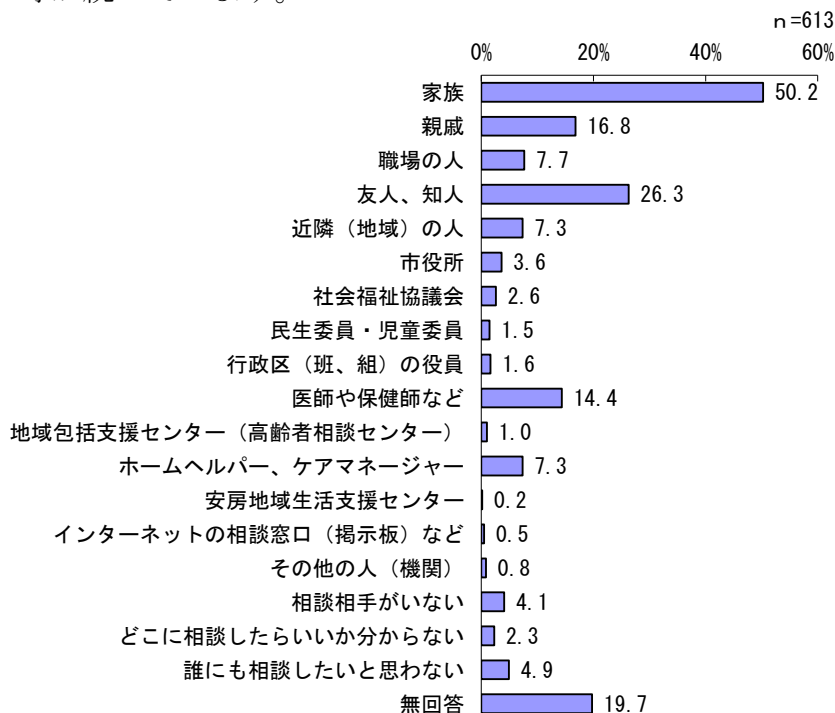
○「将来の生活に関すること」（39.5%）という回答が最も多く、次いで「自分の健康に関すること」（30.7%）が多くなっています。



#### ◆困りごとや悩みの相談先（問7）

問7 「問6」で「10 特にない」と答えた方以外の方がお答えください。問6で回答した困っていることや悩みを、誰（どこ）に相談していますか。（あてはまるものすべてに○）

○「家族」（50.2%）という回答が過半数で最も多く、「友人、知人」（26.3%）、「無回答」（19.7%）等が続いています。

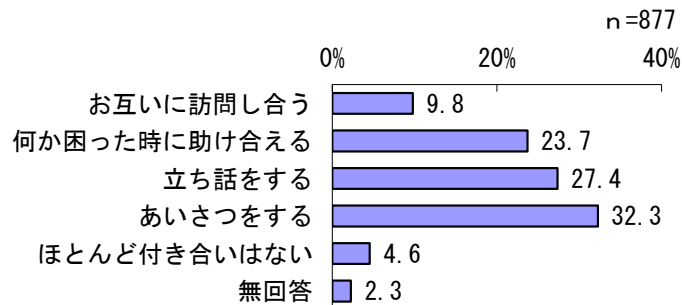


## IV ご近所付き合いについて

### ◆ご近所との付き合いの程度（問8）

問8 ご近所との付き合いは、どの程度していますか。（1つに○）

○「あいさつをする」(32.3%)という回答が最も多く、次いで「立ち話をする」(27.4%)が多くなっています。



### 【年齢別、居住地区別】

○年齢別でみると、50歳代までは「あいさつをする」が最も多いのに対し、60歳代以上では「立ち話をする」が最も多くなっています。

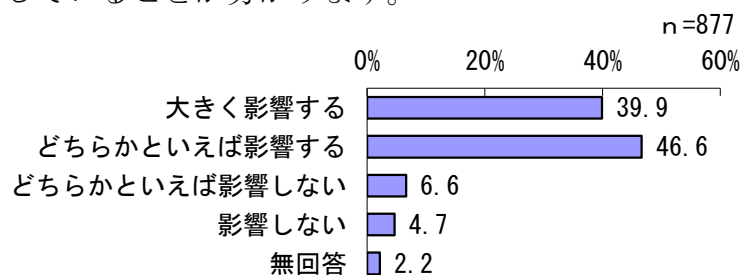
居住地区別では、他地区では「あいさつをする」か「立ち話をする」が最も多いですが、富山地区では「何か困った時に助け合える」が最も多くなっています。

	合計	お互いに訪問し合う	何か困った時に助け合える	立ち話をする	あいさつをする	ほとんど付き合いはない	無回答
全体	877 100.0	86 9.8	208 23.7	240 27.4	283 32.3	40 4.6	20 2.3
18・19歳	8 100.0	0 0.0	2 25.0	0 0.0	4 50.0	0 0.0	2 25.0
20～29歳	41 100.0	1 2.4	6 14.6	9 22.0	19 46.3	5 12.2	1 2.4
30～39歳	39 100.0	3 7.7	11 28.2	7 17.9	16 41.0	2 5.1	0 0.0
40～49歳	98 100.0	6 6.1	21 21.4	22 22.4	46 46.9	3 3.1	0 0.0
50～59歳	128 100.0	3 2.3	24 18.8	37 28.9	56 43.8	6 4.7	2 1.6
60～69歳	221 100.0	25 11.3	61 27.6	62 28.1	57 25.8	13 5.9	3 1.4
70～79歳	207 100.0	23 11.1	50 24.2	67 32.4	56 27.1	6 2.9	5 2.4
80歳以上	130 100.0	24 18.5	33 25.4	36 27.7	27 20.8	5 3.8	5 3.8
富浦	115 100.0	11 9.6	18 15.7	41 35.7	34 29.6	7 6.1	4 3.5
富山	124 100.0	10 8.1	47 37.9	26 21.0	33 26.6	6 4.8	2 1.6
三芳	95 100.0	8 8.4	21 22.1	32 33.7	32 33.7	2 2.1	0 0.0
白浜	102 100.0	9 8.8	29 28.4	32 31.4	30 29.4	1 1.0	1 1.0
千倉	223 100.0	18 8.1	42 18.8	61 27.4	83 37.2	14 6.3	5 2.2
丸山	107 100.0	13 12.1	28 26.2	24 22.4	36 33.6	3 2.8	3 2.8
和田	104 100.0	17 16.3	22 21.2	24 23.1	33 31.7	6 5.8	2 1.9

## ◆近所付き合いの地域の暮らしやすさへの影響（問9）

問9 ご近所付き合いは、地域の暮らしやすさに影響すると思いますか。（1つに○）

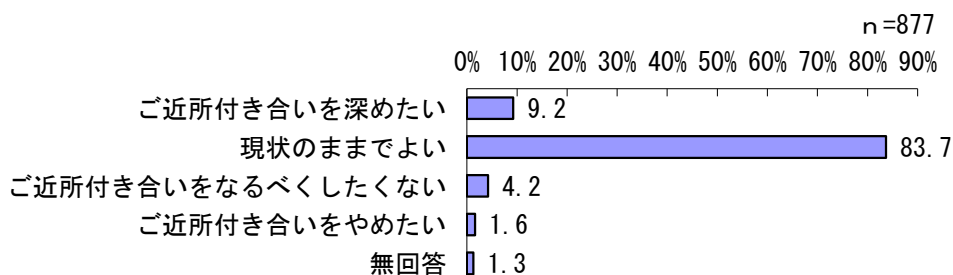
- 「どちらかといえば影響する」（46.6%）という回答が最も多く、次いで多い「大きく影響する」（39.9%）も合わせると86.5%と、8割台半ばの人が“一定程度以上影響する”と回答していることが分かります。



## ◆近所付き合いに関する今後の希望（問10）

問10 ご近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか。（1つに○）

- 「現状のままでよい」（83.7%）という回答が8割台に達して圧倒的に多く、次いで「ご近所付き合いを深めたい」（9.2%）が1割弱で多くなっています。

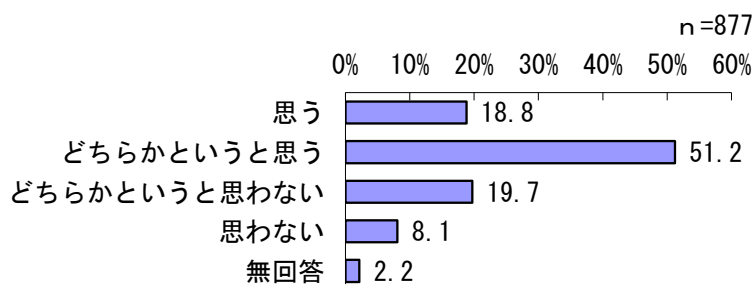


## V 支え合い・助け合いについて

### ◆住民同士の支え合いの有無（問 11）

問 11 お住まいの地域では、住民同士の支え合いが行われていると思いますか。（1つに○）

○「どちらかというと思う」（51.2%）という回答が過半数で最も多く、「どちらかというと思わない」（19.7%）、「思う」（18.8%）、「思わない」（8.1%）の順で続いています。



#### 【居住地区別】

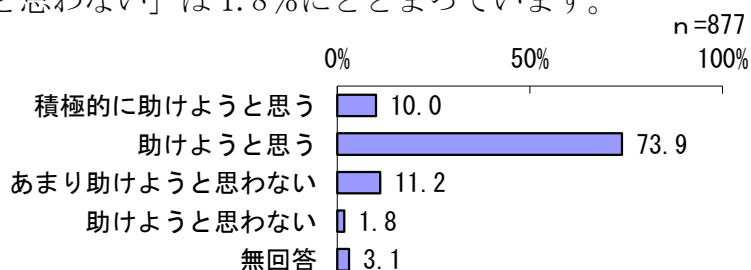
○居住地区別でみると、三芳・丸山両地区で「思う」が4分の1を超え、多くなっています。

	合計	思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない	無回答
全体	877	165	449	173	71	19
	100.0	18.8	51.2	19.7	8.1	2.2
富浦	115	14	66	21	10	4
	100.0	12.2	57.4	18.3	8.7	3.5
富山	124	26	62	27	8	1
	100.0	21.0	50.0	21.8	6.5	0.8
三芳	95	25	44	19	7	0
	100.0	26.3	46.3	20.0	7.4	0.0
白浜	102	22	54	19	6	1
	100.0	21.6	52.9	18.6	5.9	1.0
千倉	223	38	107	44	29	5
	100.0	17.0	48.0	19.7	13.0	2.2
丸山	107	28	55	20	3	1
	100.0	26.2	51.4	18.7	2.8	0.9
和田	104	12	59	20	8	5
	100.0	11.5	56.7	19.2	7.7	4.8

## ◆地域で困っている人がいたら助けようと思うか（問12）

問12 地域で困っている人がいたら、助けようと思いますか。（1つに○）

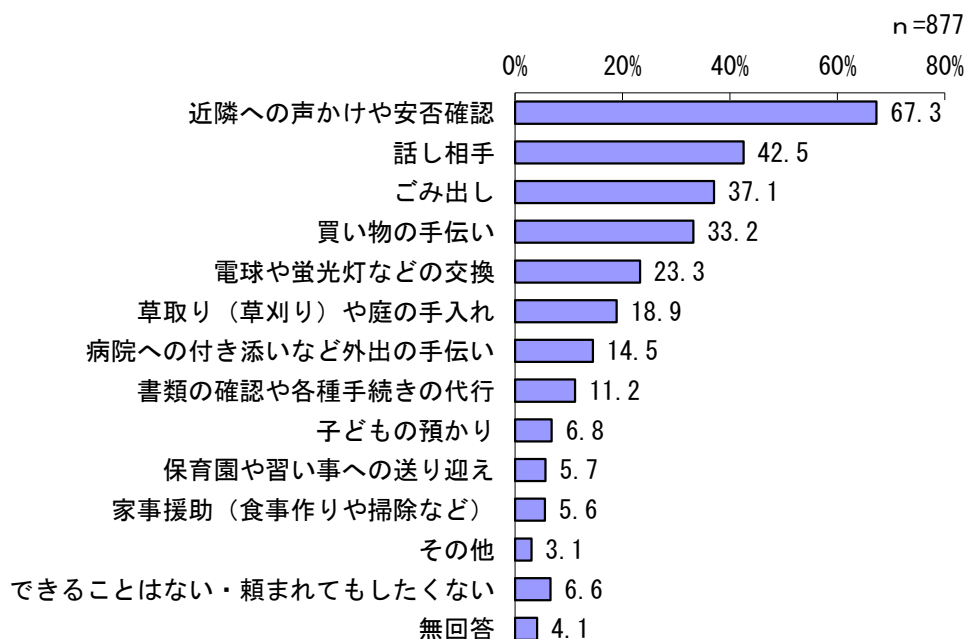
- 「助けようと思う」（73.9%）という回答が7割台に達して圧倒的に多く、「あまり助けようと思わない」（11.2%）、「積極的に助けようと思う」（10.0%）が続いています。「助けようと思わない」は1.8%にとどまっています。



## ◆地域で困っている人にできると思うこと（問13）

問13 地域に困っている人がいた場合、「頼まれ」たらできると思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

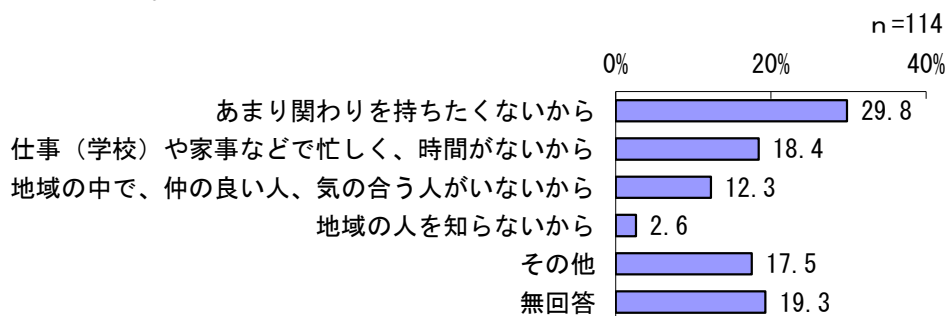
- 「近隣への声かけや安否確認」（67.3%）という回答が最も多く、次いで「話し相手」（42.5%）が多く、「ごみ出し」（37.1%）、「買い物の手伝い」（33.2%）が続いています。



## ◆助けようと思わない理由（問 14）

問 14 問 12 で「3 あまり助けようと思わない」「4 助けようと思わない」と答えた方が  
お答えください。（あまり）助けようと思わない理由は何ですか。（1つに○）

- 「あまり関わりを持ちたくないから」（29.8%）という回答がほぼ3割で最も多く、  
「無回答」（19.3%）、「仕事（学校）や家事などで忙しく、時間がないから」（18.4%）  
等が続いています。



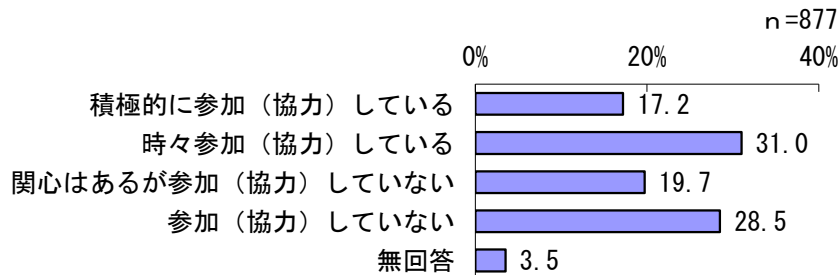
## VI 地域活動（ボランティア活動を含む）について

### ◆地域活動等への参加状況（問15）

問15 地域の行事や活動（※ボランティア活動を含む）に参加していますか。（1つに○）

○「時々参加（協力）している」（31.0%）という回答が最も多く、次いで「参加（協力）していない」（28.5%）が多くなっています。

「積極的に」と「時々」を合わせた“参加（協力）派”が48.2%、関心の有無にかかわらず“非参加（協力）派”も48.2%で、同率となっています。



### 【男女別、年齢別、居住地区別】

	合計	積極的に参加（協力）している	時々参加（協力）している	関心はあるが参加（協力）していない	参加（協力）していない	無回答
全体	877	151	272	173	250	31
	100.0	17.2	31.0	19.7	28.5	3.5
男性	385	87	135	63	86	14
	100.0	22.6	35.1	16.4	22.3	3.6
女性	483	63	136	109	161	14
	100.0	13.0	28.2	22.6	33.3	2.9
18・19歳	8	0	2	2	4	0
	100.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0
20～29歳	41	3	10	10	18	0
	100.0	7.3	24.4	24.4	43.9	0.0
30～39歳	39	6	12	8	13	0
	100.0	15.4	30.8	20.5	33.3	0.0
40～49歳	98	12	40	15	30	1
	100.0	12.2	40.8	15.3	30.6	1.0
50～59歳	128	27	37	22	40	2
	100.0	21.1	28.9	17.2	31.3	1.6
60～69歳	221	48	77	39	55	2
	100.0	21.7	34.8	17.6	24.9	0.9
70～79歳	207	39	59	57	42	10
	100.0	18.8	28.5	27.5	20.3	4.8
80歳以上	130	16	35	18	47	14
	100.0	12.3	26.9	13.8	36.2	10.8
富浦	115	25	23	33	30	4
	100.0	21.7	20.0	28.7	26.1	3.5
富山	124	13	44	24	40	3
	100.0	10.5	35.5	19.4	32.3	2.4
三芳	95	24	29	18	24	0
	100.0	25.3	30.5	18.9	25.3	0.0
白浜	102	25	26	26	22	3
	100.0	24.5	25.5	25.5	21.6	2.9
千倉	223	33	68	38	73	11
	100.0	14.8	30.5	17.0	32.7	4.9
丸山	107	11	44	21	29	2
	100.0	10.3	41.1	19.6	27.1	1.9
和田	104	20	37	11	30	6
	100.0	19.2	35.6	10.6	28.8	5.8

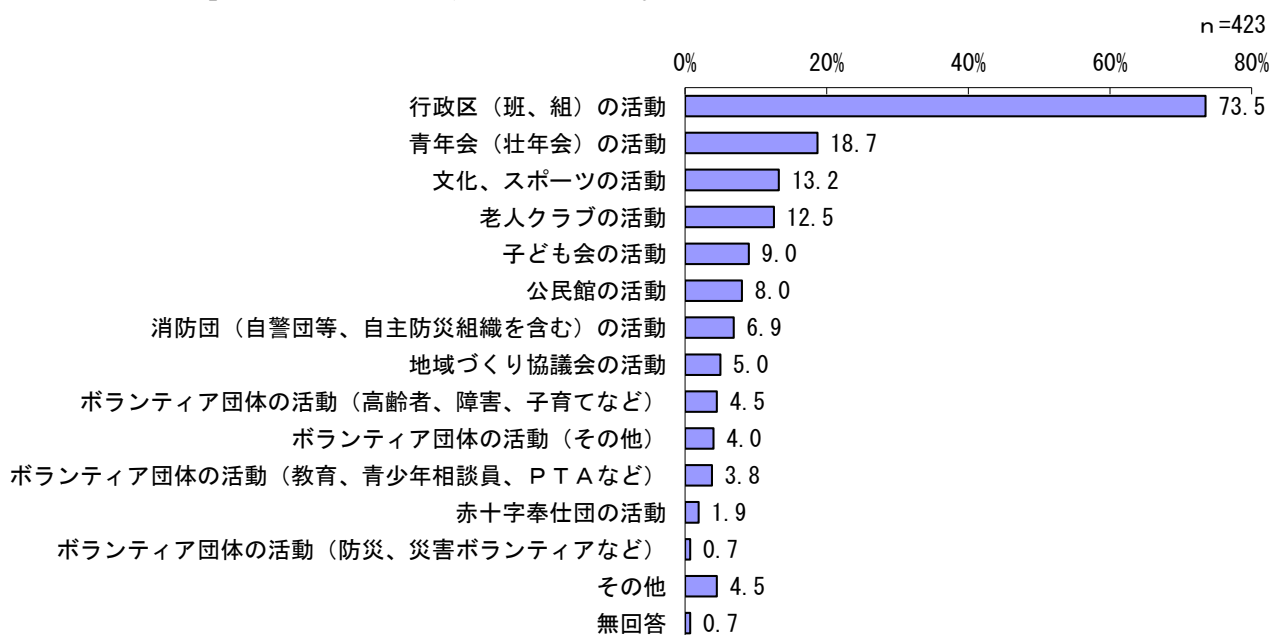
○男女別では、“参加（協力）派”の割合が男性で57.7%、女性で41.2%で、男性が女性を15ポイント以上上回っています。

年齢別では、50歳代と60歳代で「積極的に参加（協力）している」が2割を超え、比較的多くなっています。居住地区別でみると、富山、三芳、丸山、和田の各地区では「時々参加（協力）している」が、富浦地区では「関心はあるが参加（協力）していない」が、千倉地区では「参加（協力）していない」が、それぞれ最も多くなっています。また、白浜地区では「時々参加（協力）している」と「関心はあるが参加（協力）していない」が最も多くなっています。

## ◆参加（協力）している地域活動等（問16）

問16 問15で「1 積極的に参加（協力）している」「2 時々参加（協力）している」と答えた方がお答えください。それはどのような活動ですか。（あてはまるものすべてに○）

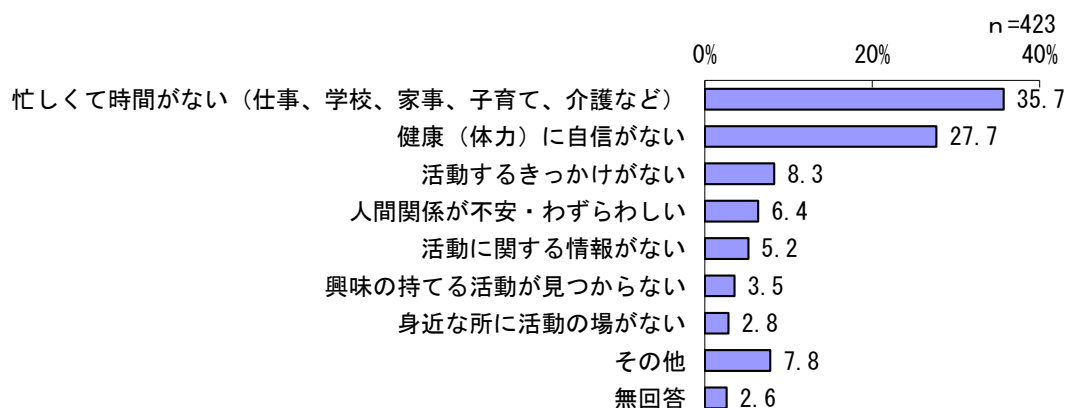
○「行政区（班、組）の活動」（73.5%）という回答が7割を超えて圧倒的に多く、「青年会（壮年会）の活動」（18.7%）、「文化、スポーツの活動」（13.2%）、「老人クラブの活動」（12.5%）等が続いています。



## ◆参加（協力）していない理由（問17）

問17 問15で「3 関心はあるが参加（協力）していない」「4 参加（協力）していない」と答えた方がお答えください。参加（協力）されない理由は何ですか。（1つに○）

○「忙しくて時間がない（仕事、学校、家事、子育て、介護など）」（35.7%）という回答が最も多く、次いで「健康（体力）に自信がない」（27.7%）が多くなっています。

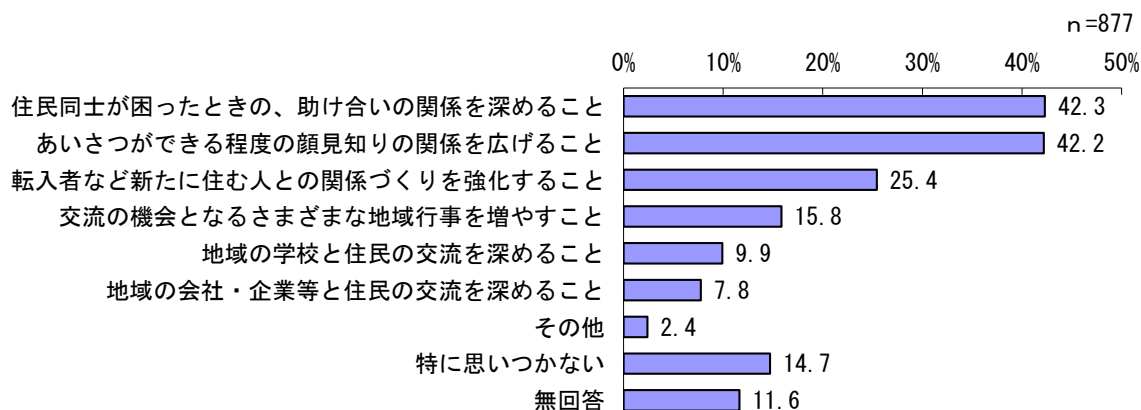




## ◆地域活動等の活発化のために大切と思うこと（問 18）

問 18 問 16 で挙げたような活動が、地域でもっと活発に行われるためには、何が大切だと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

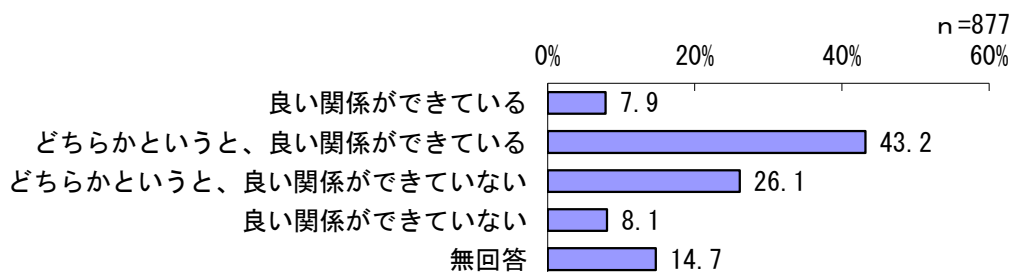
○「住民同士が困ったときの、助け合いの関係を深めること」（42.3%）、「あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げること」（42.2%）という回答が多くなっています。



## ◆地域福祉に関する住民と市役所との「協働」の関係について（問 19）

問 19 現在の、地域福祉に関する住民と市役所との「協働」の関係（一緒に作り上げる関係）について、どう思いますか。（1つに○）

○「どちらかという、良い関係ができている」（43.2%）という回答が最も多く、次いで「どちらかという、良い関係ができている」（26.1%）が多くなっています。どちらかという、も合わせ「良い関係ができている」とした“肯定派”は51.1%、「良い関係ができている」とした“否定派”は34.2%で、肯定派が否定派を15ポイント以上上回っています。

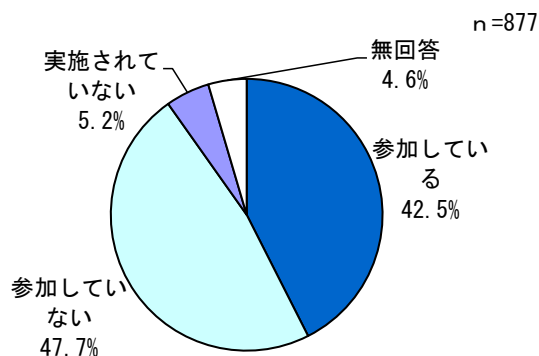


## VII 防災について

### ◆地域の防災訓練（防災行事）への参加状況（問 20）

問 20 地域の防災訓練（防災行事）に参加していますか。（1つに○）

○「参加している」が42.5%、「参加していない」が47.7%で、「参加していない」が約5%多くなっています。



#### 【年齢別、居住地区別】

○年齢別で見ると、60歳代と70歳代で「参加している」が4割を超えて比較的多く、「参加していない」を上回っています。

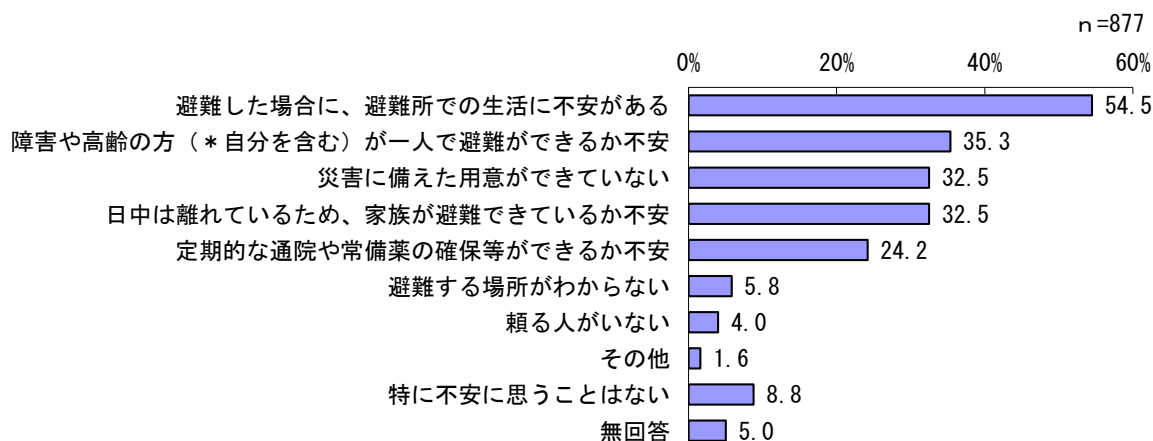
居住地区別では、富浦、白浜、千倉の各地区で「参加している」が多く、「参加していない」を上回っています。また、丸山地区では「実施されていない」とした回答が18.7%と、2割弱みられます。

	合計	参加している	参加していない	実施されていない	無回答
全体	877	373	418	46	40
	100.0	42.5	47.7	5.2	4.6
18・19歳	8	2	4	2	0
	100.0	25.0	50.0	25.0	0.0
20～29歳	41	10	30	0	1
	100.0	24.4	73.2	0.0	2.4
30～39歳	39	16	19	4	0
	100.0	41.0	48.7	10.3	0.0
40～49歳	98	35	57	4	2
	100.0	35.7	58.2	4.1	2.0
50～59歳	128	51	65	5	7
	100.0	39.8	50.8	3.9	5.5
60～69歳	221	109	90	14	8
	100.0	49.3	40.7	6.3	3.6
70～79歳	207	107	80	10	10
	100.0	51.7	38.6	4.8	4.8
80歳以上	130	42	71	7	10
	100.0	32.3	54.6	5.4	7.7
富浦	115	75	35	0	5
	100.0	65.2	30.4	0.0	4.3
富山	124	45	69	4	6
	100.0	36.3	55.6	3.2	4.8
三芳	95	22	61	7	5
	100.0	23.2	64.2	7.4	5.3
白浜	102	66	32	1	3
	100.0	64.7	31.4	1.0	2.9
千倉	223	121	90	6	6
	100.0	54.3	40.4	2.7	2.7
丸山	107	19	60	20	8
	100.0	17.8	56.1	18.7	7.5
和田	104	25	67	8	4
	100.0	24.0	64.4	7.7	3.8

## ◆災害発生時に関して不安に思うこと（問 21）

問 21 災害が起きた場合について不安に思うことはありますか。（あてはまるものすべてに○）

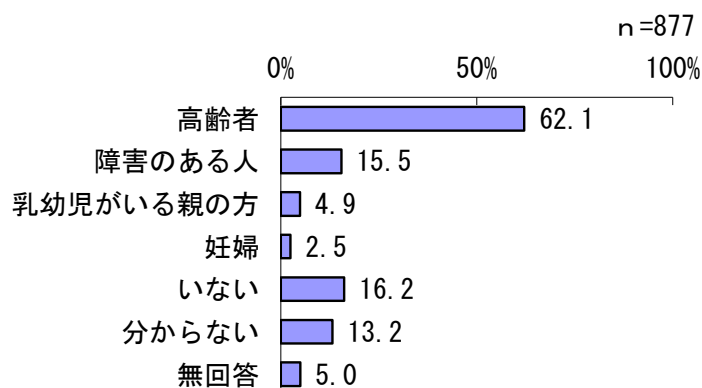
- 「避難した場合に、避難所での生活に不安がある」（54.5%）という回答が過半数で最も多く、「障害や高齢の方（\*自分を含む）が一人で避難ができるか不安」（35.3%）、「災害に備えた用意ができていない」と「日中は離れているため、家族が避難できているか不安」（ともに 32.5%）の順で続いています。



## ◆災害時避難要支援者の有無（問 22）

問 22 ご近所に、災害が起きたら避難支援が必要と思われる方はいますか。また、いる場合、それはどのような方ですか。（あてはまるものすべてに○）

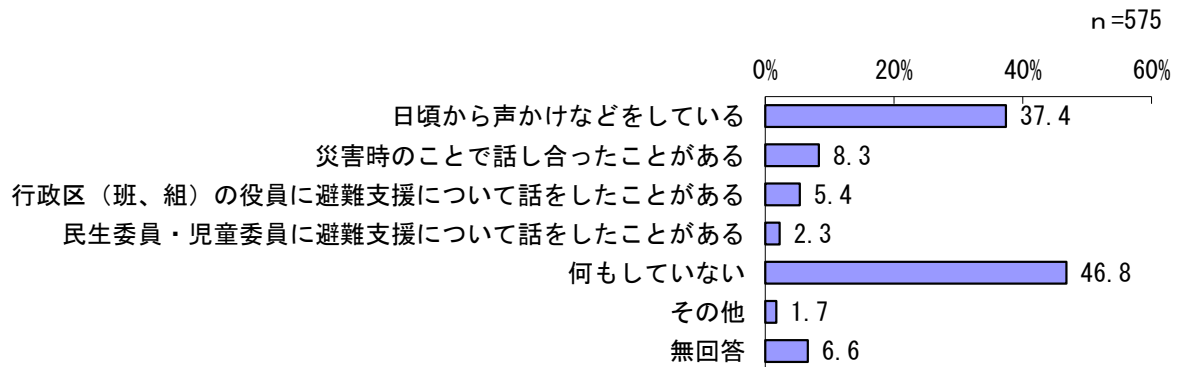
- 「高齢者」（62.1%）という回答が最も多く、「いない」（16.2%）、「障害のある人」（15.5%）、「分からない」（13.2%）が続いています。



## ◆実際に支援行動をした内容（問 23）

問 23 問 22 で「1 高齢者」～「4 妊婦」と答えた方がお答えください。その人たちに対して、何か支援の行動をしたことはありますか。また、ある場合、それはどのようなことでしたか。（あてはまるものすべてに○）

○「何もしていない」（46.8%）という回答が最も多く、次いで「日頃から声かけなどをしている」（37.4%）が多くなっています。

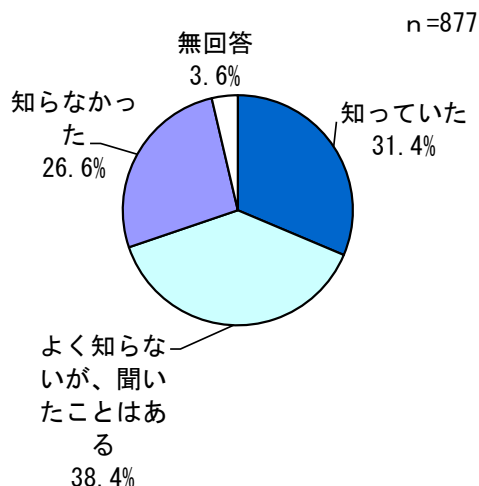


## VIII 「成年後見制度」について

### ◆ 「成年後見制度」の認知状況（問 24）

問 24 「成年後見制度」について知っていましたか。（1つに○）

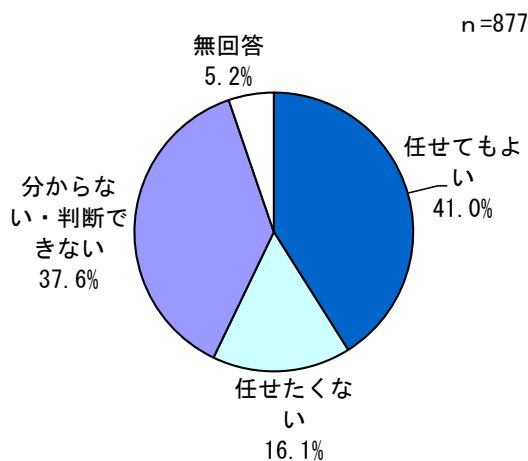
- 「よく知らないが、聞いたことはある」（38.4%）という回答が最も多く、「知っていた」（31.4%）、「知らなかった」（26.6%）の順で続いています。



### ◆ 「成年後見制度」の利用意向（問 25）

問 25 万一、自分自身の判断能力が不十分になった場合、「成年後見制度」に基づいて自身の財産等を「成年後見人」に任せることについて、どのように思いますか。（1つに○）

- 「任せてもよい」（41.0%）という回答が最も多く、「分からない・判断できない」（37.6%）、「任せたくない」（16.1%）の順で続いています。



## 【年齢別】

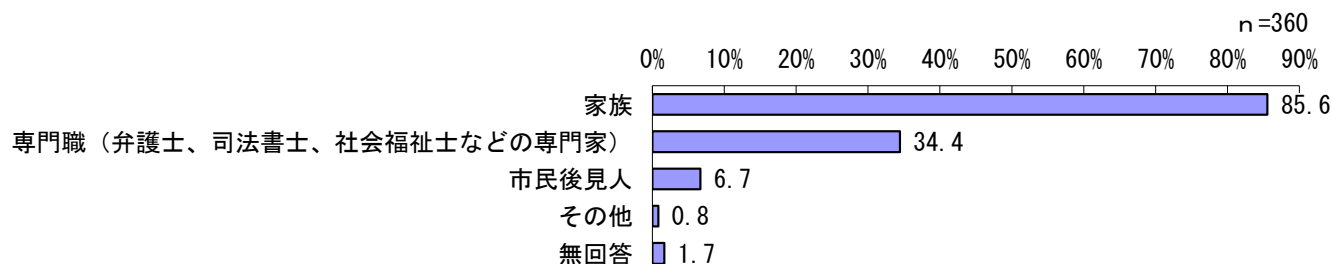
○年齢別でみると、若年層では「分からない・判断できない」が比較的大きな割合を占めていますが、年代の上昇とともに30歳代から50歳代まででは4割台、60歳代以上では3割台と、割合が減少を示しています。

	合計	任せてもよい	任せたくない	分からない・判断できない	無回答
全体	877	360	141	330	46
	100.0	41.0	16.1	37.6	5.2
18・19歳	8	1	2	5	0
	100.0	12.5	25.0	62.5	0.0
20～29歳	41	16	4	21	0
	100.0	39.0	9.8	51.2	0.0
30～39歳	39	13	9	17	0
	100.0	33.3	23.1	43.6	0.0
40～49歳	98	42	11	44	1
	100.0	42.9	11.2	44.9	1.0
50～59歳	128	50	18	54	6
	100.0	39.1	14.1	42.2	4.7
60～69歳	221	102	44	69	6
	100.0	46.2	19.9	31.2	2.7
70～79歳	207	88	32	73	14
	100.0	42.5	15.5	35.3	6.8
80歳以上	130	48	20	46	16
	100.0	36.9	15.4	35.4	12.3

## ◆任せてもよいと思う成年後見人（問26）

問26 問25で「1 任せてもよい」と答えた方がお答えください。誰になら、任せてもよいと思いますか。（あてはまるものすべてに○）

○「家族」（85.6%）という回答が最も多く、次いで「専門職（弁護士、司法書士、社会福祉士などの専門家）」（34.4%）が多くなっています。

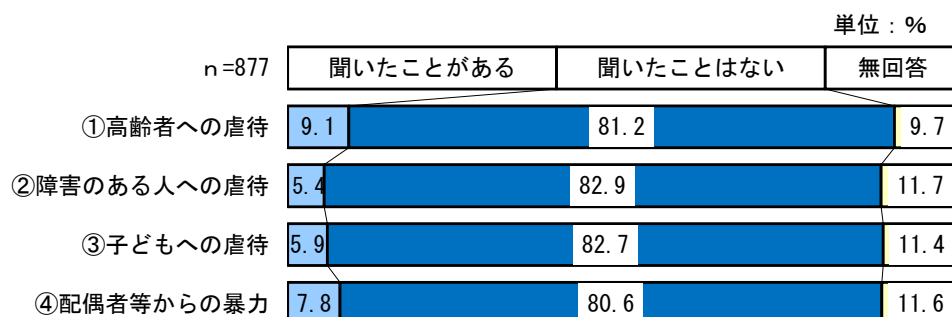


## Ⅸ 虐待等について

### ◆虐待等について聞いた経験の有無（問 27）

問 27 あなたは、地域の出来事として、下記の①～④に示す家族等による虐待等があったことを聞いたことがありますか。（それぞれ1つずつに○）

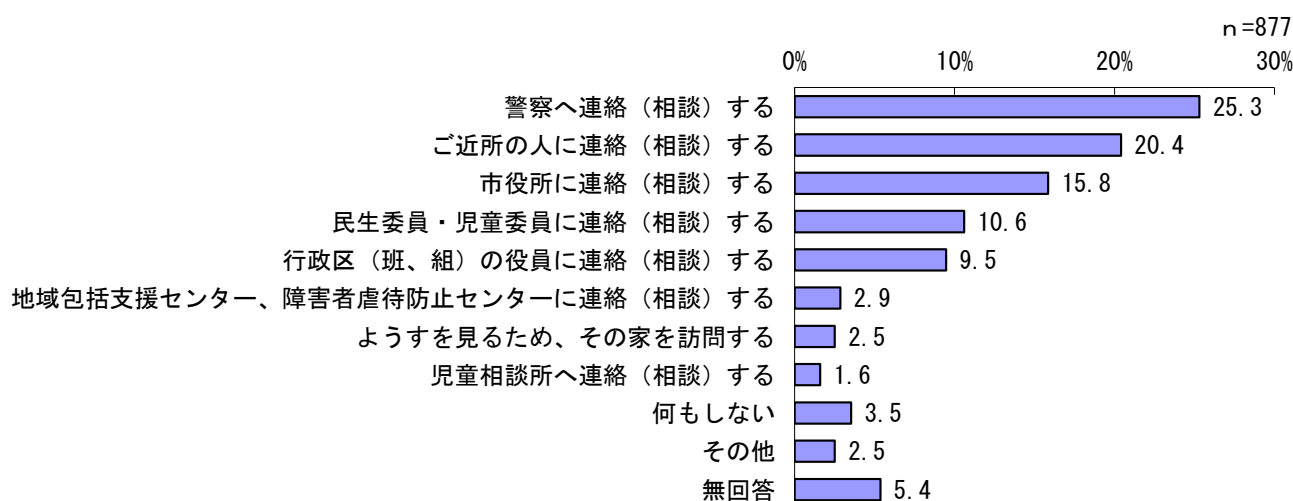
○①～④のいずれについても「聞いたことはない」という回答が8割を超えて圧倒的に多くなっていますが、「聞いたことがある」が比較的多いのは、“①高齢者への虐待”（9.1%）と“④配偶者等からの暴力”（7.8%）となっています。



### ◆周囲での虐待や暴力の発生への対応（問 28）

問 28 あなたの周囲で虐待や暴力が発生していることが分かったら、最初にどのように対応しますか。（1つに○）

○「警察へ連絡（相談）する」（25.3%）という回答が最も多く、次いで「ご近所の人に連絡（相談）する」（20.4%）が多く、「市役所に連絡（相談）する」（15.8%）が続いています。

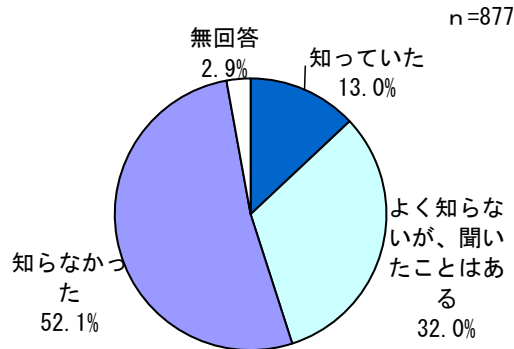


## X 生活に困ったときのことについて

### ◆「生活困窮者自立支援相談窓口」の認知状況（問 29）

問 29 生活に困った時のために、「生活困窮者自立支援相談窓口」という相談窓口がありますが、知っていましたか。（1つに○）

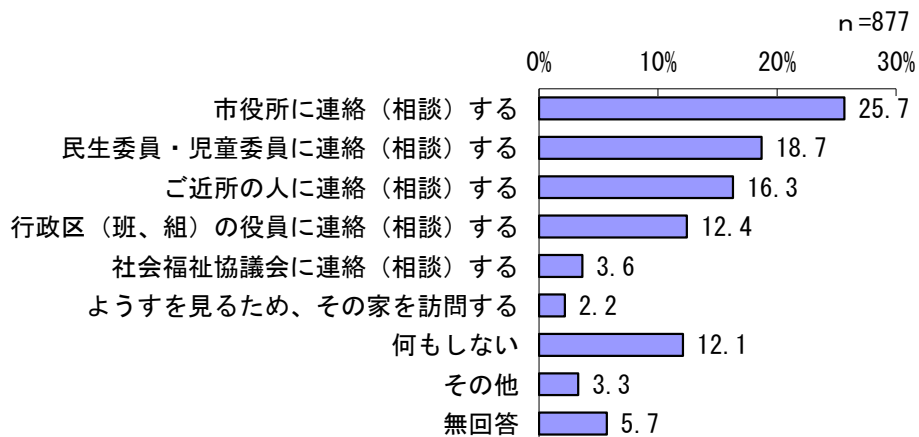
- 「知らなかった」（52.1%）という回答が過半数を占めて最も多く、次いで「よく知らないが、聞いたことはある」（32.0%）、「知っていた」（13.0%）の順になっています。



### ◆周囲に生活困窮者がいた場合の対応（問 30）

問 30 あなたの周囲で生活に困っている人（問 29「生活困窮者自立支援制度」に該当する程度）がいた場合、最初、どのように対応しますか。（1つに○）

- 「市役所に連絡（相談）する」（25.7%）という回答が最も多く、「民生委員・児童委員に連絡（相談）する」（18.7%）、「ご近所の人に連絡（相談）する」（16.3%）等が続いています。



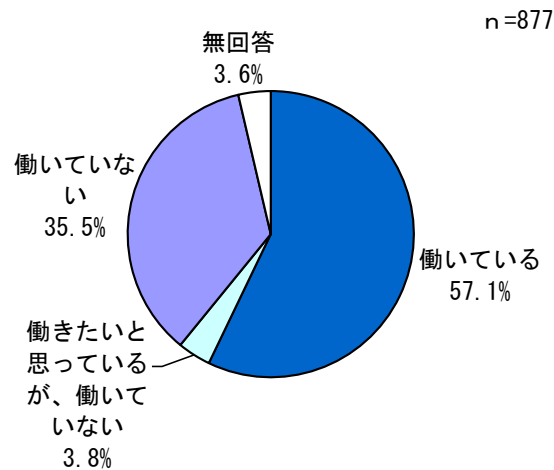


## XI 就労支援について

### ◆現在の就労状況（問 31）

問 31 現在、働いていますか。（1つに○）

○「働いている」（57.1%）という回答が過半数で最も多く、次いで「働いていない」（35.5%）、「働きたいと思っているが、働いていない」（3.8%）の順になっています。



#### 【年齢別、家族構成別】

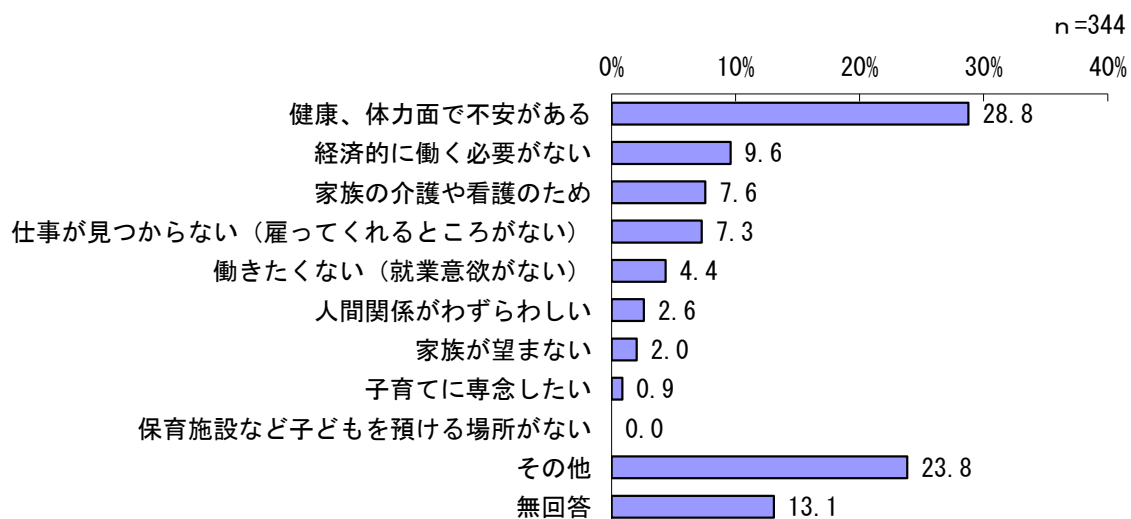
○年齢別では、10歳代と70歳代以上以外では「働いている」が最も多くなっています。家族構成別では、ひとり暮らしとその他では「働いていない」が過半数で最も多いですが、それら以外の家族構成では「働いている」が最も多くなっています。

	合計	働いている	働きたいと思っているが、働いていない	働いていない	無回答
全体	877	501	33	311	32
	100.0	57.1	3.8	35.5	3.6
18・19歳	8	2	0	6	0
	100.0	25.0	0.0	75.0	0.0
20～29歳	41	31	2	8	0
	100.0	75.6	4.9	19.5	0.0
30～39歳	39	33	3	3	0
	100.0	84.6	7.7	7.7	0.0
40～49歳	98	91	4	3	0
	100.0	92.9	4.1	3.1	0.0
50～59歳	128	112	5	10	1
	100.0	87.5	3.9	7.8	0.8
60～69歳	221	132	10	76	3
	100.0	59.7	4.5	34.4	1.4
70～79歳	207	76	7	112	12
	100.0	36.7	3.4	54.1	5.8
80歳以上	130	23	1	92	14
	100.0	17.7	0.8	70.8	10.8
ひとり暮らし	91	31	5	50	5
	100.0	34.1	5.5	54.9	5.5
夫婦のみ	252	127	6	114	5
	100.0	50.4	2.4	45.2	2.0
二世帯世帯（親と子）	362	234	14	100	14
	100.0	64.6	3.9	27.6	3.9
三世帯世帯（親と子と）	144	97	6	36	5
	100.0	67.4	4.2	25.0	3.5
その他	22	10	1	11	0
	100.0	45.5	4.5	50.0	0.0

## ◆働いていない主な理由（問 32）

問 32 問 31 で「2 働きたいと思っているが、働いていない」「3 働いていない」と答えた方のみ。働いていない主な理由は何ですか。（1つに○）

- 「健康、体力面で不安がある」（28.8%）という回答が最も多く、次いで「その他」（23.8%）が多く、「無回答」（13.1%）が続いています。



### 【「その他」の主な具体的内容】

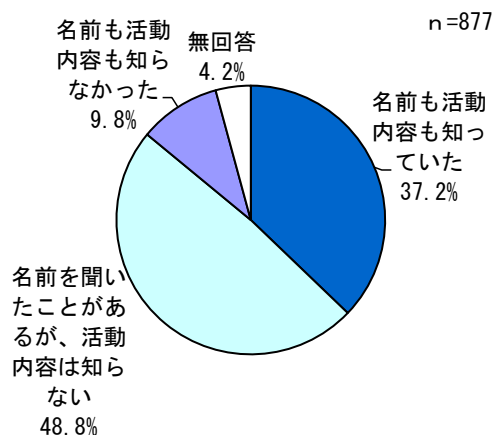
- ・高齢のため。（引退、年金生活。）
- ・学生であるため。

## XII 社会福祉協議会（地域福祉を推進する民間団体）について

### ◆「社会福祉協議会」の認知状況（問 33）

問 33 地域の福祉の推進を図るために諸活動を行っている「社会福祉協議会」という組織を知っていましたか。（1つに○）

○「名前を聞いたことがあるが、活動内容は知らない」（48.8%）という回答が半数弱を占めて最も多く、次いで「名前も活動内容も知っていた」（37.2%）、「名前も活動内容も知らなかった」（9.8%）の順となっています。



#### 【男女別、年齢別】

○男女別では、男性では「名前も活動内容も知っていた」の回答割合が女性よりも5.5ポイント少なく、反対に「名前も活動内容も知らなかった」は、女性よりも4.3ポイント多くなっています。

年齢別で見ると、30歳代と60・70歳代で「名前も活動内容も知っていた」が4割を超えて多く、70歳代では最も多い回答になっています。10歳代では「名前も活動内容も知らなかった」が8人中5人と、6割を超える値となっています。

	合計	名前も活動内容も知っていた	名前を聞いたことがあるが、活動内容は知らない	名前も活動内容も知らなかった	無回答
全体	877	326	428	86	37
	100.0	37.2	48.8	9.8	4.2
男性	385	133	192	47	13
	100.0	34.5	49.9	12.2	3.4
女性	483	193	233	38	19
	100.0	40.0	48.2	7.9	3.9
18・19歳	8	0	3	5	0
	100.0	0.0	37.5	62.5	0.0
20～29歳	41	8	20	13	0
	100.0	19.5	48.8	31.7	0.0
30～39歳	39	16	18	5	0
	100.0	41.0	46.2	12.8	0.0
40～49歳	98	38	50	10	0
	100.0	38.8	51.0	10.2	0.0
50～59歳	128	45	68	13	2
	100.0	35.2	53.1	10.2	1.6
60～69歳	221	92	111	12	6
	100.0	41.6	50.2	5.4	2.7
70～79歳	207	94	91	12	10
	100.0	45.4	44.0	5.8	4.8
80歳以上	130	33	65	16	16
	100.0	25.4	50.0	12.3	12.3

## 【居住地区別】

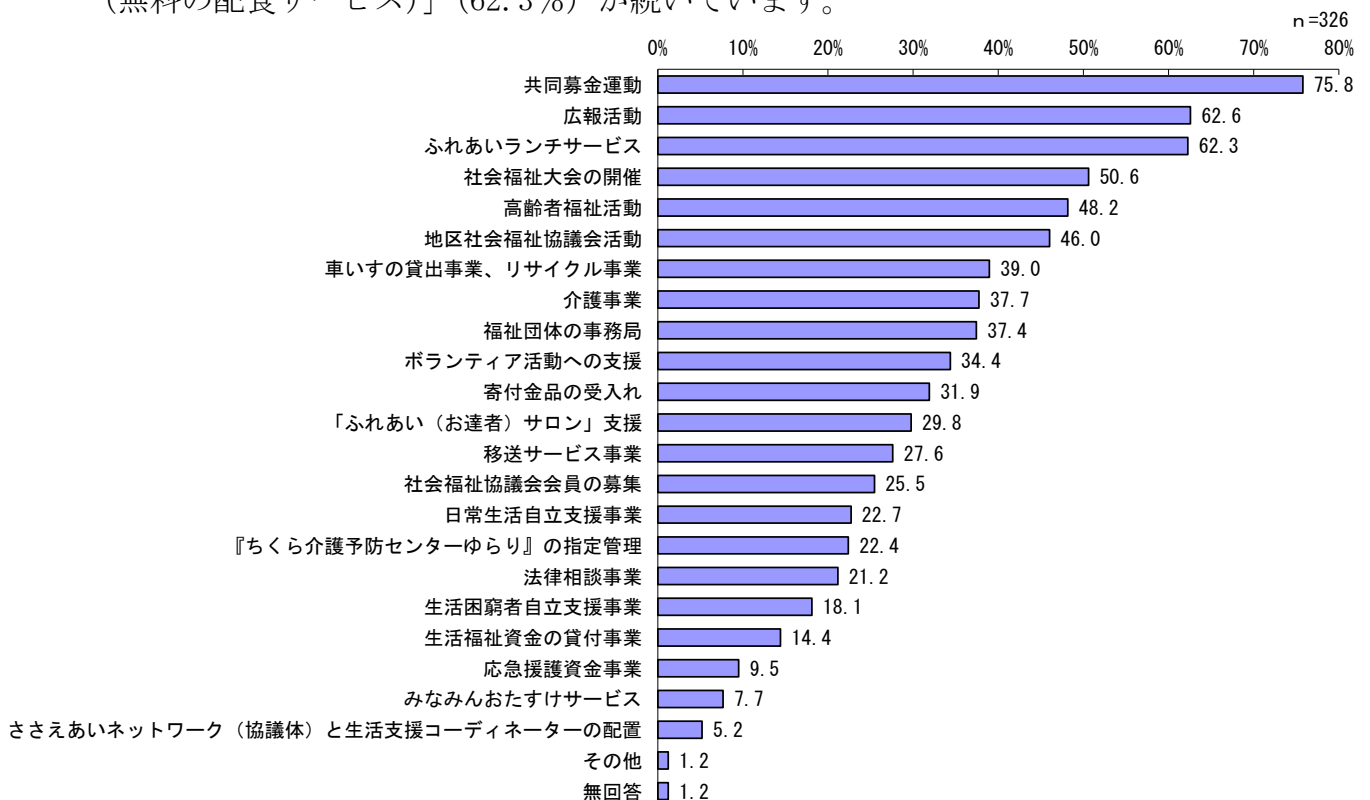
○居住地区別でみると、富山、丸山、和田の各地区で「名前も活動内容も知っていた」が4割台の値で多く、富山地区では最も多い回答になっています。

	合計	名前も活動内容も知っていた	名前を聞いたことがあるが、活動内容は知らない	名前も活動内容も知らなかった	無回答
全体	877	326	428	86	37
	100.0	37.2	48.8	9.8	4.2
富浦	115	33	62	14	6
	100.0	28.7	53.9	12.2	5.2
富山	124	61	55	4	4
	100.0	49.2	44.4	3.2	3.2
三芳	95	36	42	14	3
	100.0	37.9	44.2	14.7	3.2
白浜	102	33	57	9	3
	100.0	32.4	55.9	8.8	2.9
千倉	223	70	116	29	8
	100.0	31.4	52.0	13.0	3.6
丸山	107	47	50	4	6
	100.0	43.9	46.7	3.7	5.6
和田	104	43	45	11	5
	100.0	41.3	43.3	10.6	4.8

## ◆知っていた社会福祉協議会の活動（問 34）

問 34 問 33 で「1 名前も活動内容も知っていた」と答えた方がお答えください。社会福祉協議会の活動の中であなたが知っていたものは、何ですか。（あてはまるものすべてに○）

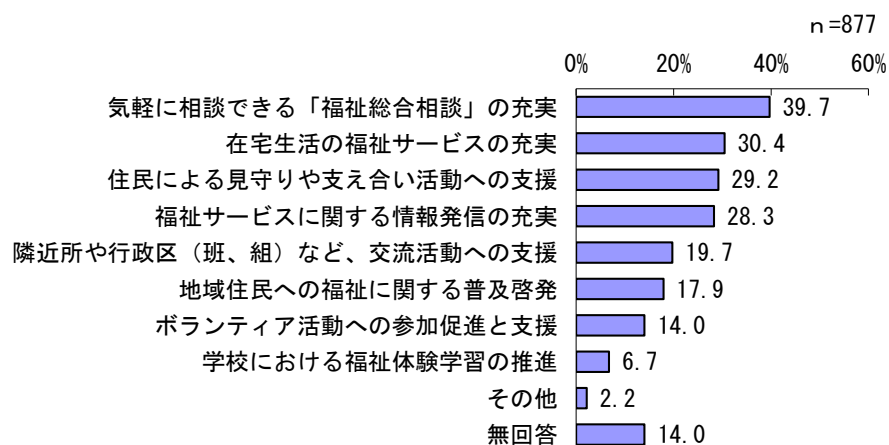
○「共同募金運動」（75.8%）という回答が最も多く、「広報活動（広報誌『てんだあ』の発行、ホームページの情報提供、声の広報など）」（62.6%）、「ふれあいランチサービス（無料の配食サービス）」（62.3%）が続いています。



## ◆今後充実させてほしい社会福祉協議会の活動（問 35）

問 35 社会福祉協議会が行う活動として、今後、充実させてほしいものは何ですか。（3つまでに○）

○「気軽に相談できる『福祉総合相談』の充実」（39.7%）という回答がほぼ4割に達して最も多く、「在宅生活の福祉サービスの充実」（30.4%）、「住民による見守りや支え合い活動への支援」（29.2%）、「福祉サービスに関する情報発信の充実」（28.3%）が続いています。

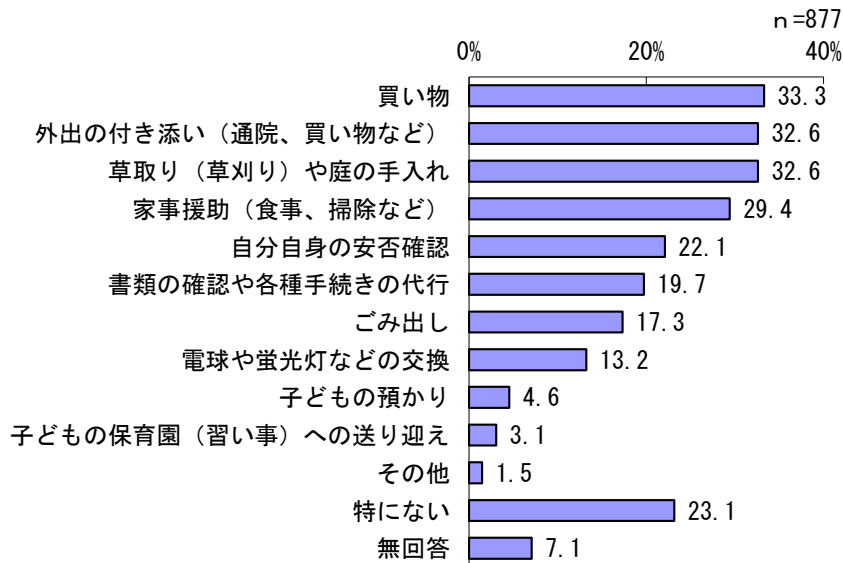


### ⅩⅢ 「地域福祉（福祉のまちづくり）」について

#### ◆頼みたい有料代行サービス（問 36）

問 36 日常生活で自分自身が困ったときに、民間の事業所（団体）が有料で代行してくれるとしたら、頼みたいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

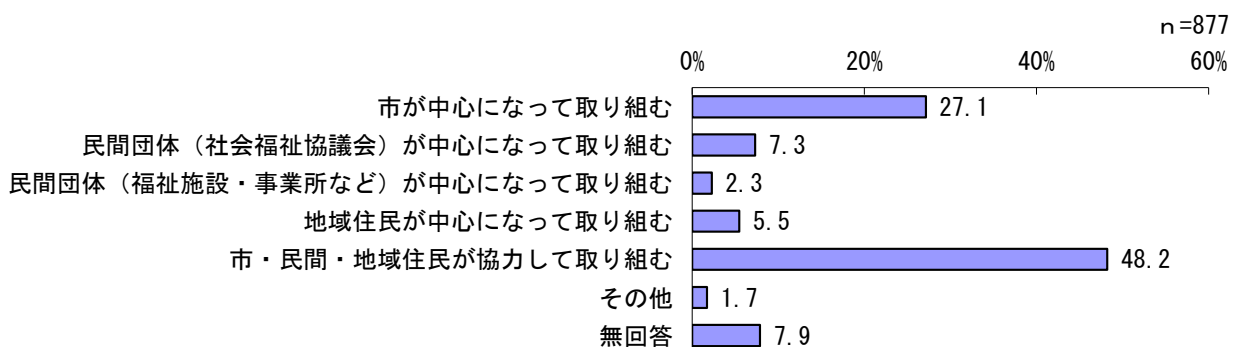
○「買い物」（33.3%）、「外出の付き添い（通院、買い物など）」と「草取り（草刈り）や庭の手入れ」（ともに 32.6%）が多く、「家事援助（食事、掃除など）」（29.4%）が続いています。



#### ◆地域福祉推進のために必要と考えること（問 37）

問 37 今後、地域福祉を推進していくためには、市と民間団体と住民の関係で、何が必要だと考えますか。（1つに○）

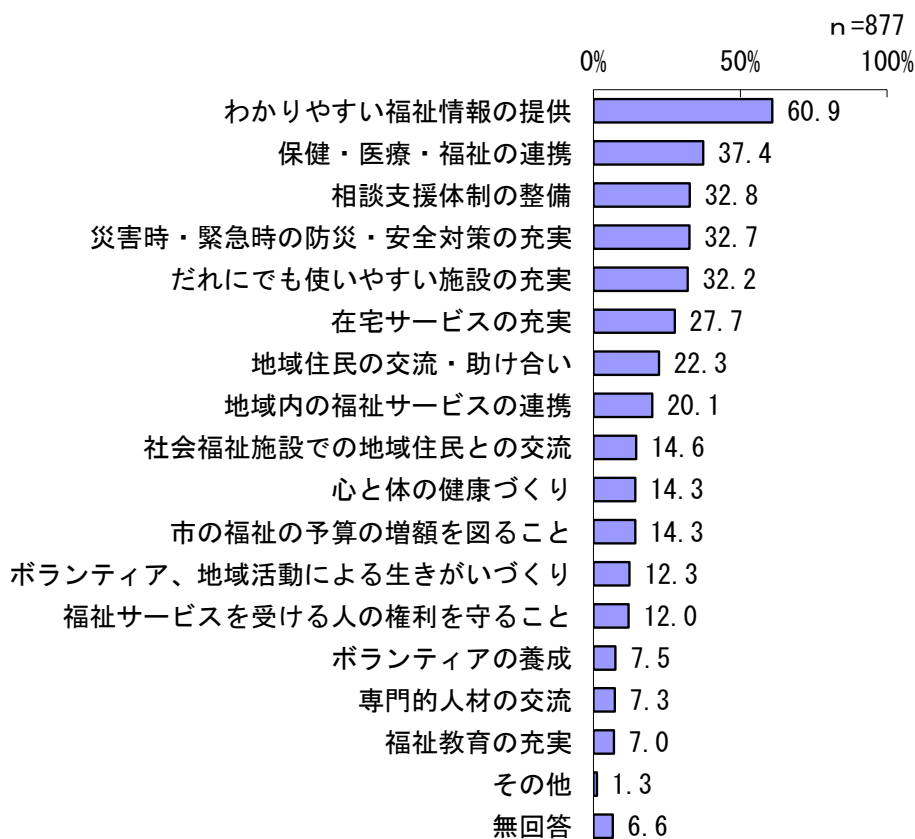
○「市・民間・地域住民が協力して取り組む」（48.2%）という回答が最も多く、次いで「市が中心になって取り組む」（27.1%）が多くなっています。



## ◆「福祉のまちづくり」推進のために重要と思うこと（問38）

問38 今後、南房総市で「福祉のまちづくり」を進めるためには、どんなことが重要だと思いますか。（5つまでに○）

○「わかりやすい福祉情報の提供」（60.9%）という回答が最も多く、次いで「保健・医療・福祉の連携」（37.4%）が多く、「相談支援体制の整備」（32.8%）、「災害時・緊急時の防災・安全対策の充実」（32.7%）、「だれにでも使いやすい施設の充実」（32.2%）が続いています。



## 【居住地区別】

居住地区別では、7地区の全てで「わかりやすい福祉情報の提供」が最も多くなっているのに次いで、富浦、富山、白浜、丸山の4地区で「保健・医療・福祉の連携」が、三芳地区で「災害時・緊急時の防災・安全対策の充実」が、千倉地区で「だれにでも使いやすい施設の充実」が、それぞれ多くなっています（和田地区では「相談支援体制の整備」と「保健・医療・福祉の連携」が同数2位）。

上位5回答まででは、全地区共通ランクインのものが多い状況ですが、上記以外の回答としては、「在宅サービスの充実」が挙げられます。

\*上位5回答、単位：％、三芳地区はnが100未満であるため実人数の後に括弧書きで参考値の％を記載

地区名 回答者数（人）						
富浦 115	わかりやすい福祉情報の提供	保健・医療・福祉の連携	相談支援体制の整備	在宅サービスの充実	だれにでも使いやすい施設の充実	
	60.9	37.4	36.5		31.3	
富山 124	わかりやすい福祉情報の提供	保健・医療・福祉の連携	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	だれにでも使いやすい施設の充実	相談支援体制の整備	
	57.3	39.5	32.3	31.5	29.8	
三芳 95	わかりやすい福祉情報の提供	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	相談支援体制の整備	保健・医療・福祉の連携	だれにでも使いやすい施設の充実	
	61人(64.2)	35人(36.8)		34人(35.8)	28人(29.5)	
白浜 102	わかりやすい福祉情報の提供	保健・医療・福祉の連携	相談支援体制の整備	だれにでも使いやすい施設の充実	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	
	70.6	39.2			32.4	
千倉 223	わかりやすい福祉情報の提供	だれにでも使いやすい施設の充実	保健・医療・福祉の連携	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	在宅サービスの充実	
	57.4	36.3	31.4	30.0	29.1	
丸山 107	わかりやすい福祉情報の提供	保健・医療・福祉の連携	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	だれにでも使いやすい施設の充実	相談支援体制の整備	在宅サービスの充実
	65.4	43.0	36.4	31.8		30.8
和田 104	わかりやすい福祉情報の提供	相談支援体制の整備	保健・医療・福祉の連携	災害時・緊急時の防災・安全対策の充実	だれにでも使いやすい施設の充実	
	56.7		41.3	38.5	27.9	



## ◆自由記入内容のまとめ（問 39）

問 39 最後に、あなたが普段困っていることや、あなたが地域でやってみたい活動など、自由にお書きください。

○普段の困りごとや地域でやってみたい活動などについての考え等を、自由記入方式でたずねました。189 人の回答者から記入があり、その内容を項目別にまとめると、以下のようになります。

(合計 243 件)	
ボランティア（活動の意向等）	19 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○ボランティア活動をしたいが、地域でどのような活動をしているか、情報が少ない。 ○ボランティア活動も、活動している人達の意見を聞き、それに沿って市が支援してくれたら有難いと思います。 ○ストレス過多で疲れ切っているので生活するので手一杯の為、ボランティアも考えられません。 ○近所の方達の車での送迎や、見守りのお手伝いできれば、と思っています。	
買い物に関する外出・移動	17 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○買い物に不便で家族の休日に頼るしかありません。後はタクシーを利用しています。生活用品、食品は生協を利用しています。 ○高齢者の方の買い物代行などを有償でできたらいいな、と思います。 ○今は自動車の運転が出来るけど、年とともにできなくなり、商店が近くに無くなり、自分で行けなくなったらどうしましょう。	
外出・移動について	15 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○近くにコンビニなどが無く、車で行かないといけなの不便だと思う。ガソリンスタンドも近くにないため館山か岩井の方まで行かないといけない。 ○路線バスの本数が少ない。 ○運転できなくなった時の移動手段（が重要）。	
未来（将来）への不安	15 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○地域は広く、奥が深い。そして高齢化であるため、独居の方が増える一方である。自分も含めてそんなに遠くはない将来には無くなるのではないかと不安に思う。老人が何がしたいかも大切だがそれを見守り助けてくれる壮年、少年、子どもが居なくては成立しない。 ○Uターンで南房総市に帰ってきて7年です。子どもも夫もない独身者です。帰ってきて困ったのは仕事が無い事。独り身の中年女性には生きづらい世の中だと思っています。今の生活が不安定な為、将来に不安しかありません。 ○人口減少、少子高齢、害獣被害、コミュニティや農地、管理地など、身の回りの住環境の維持が困難になりつつある現在にあって、未来への不安を数えあげればきりがありません。	
健康問題（病気等関連）について	13 件
<b>具体的記載内容実例：</b> ○1人暮らし、86才男性です。持病（心臓細動）が有り、発作が心配です（ここ数年発作はありませんが）。 ○高齢者。現在は夫婦二人、元気で生活しています。でも病気になった時の事を考えると不安を感じる時があります。 ○子育ての不安とうつ病の戦い中。	

アンケート調査自体について	10件
<p><b>具体的記載内容実例:</b> ○難しいアンケートです。質問内容が具体性に欠けていると思います。ボーッと生活している私にはすごく難しいアンケートでした。何を調べて、その後どうしたいのですか、先が見えません！</p> <p>○私は95才になるのでこのようなアンケートは大変、自分で読んで答えることが大変、困難でした。手伝ってもらいました。</p> <p>○長い文章の読解が難しいです。</p>	
バリアフリー・ユニバーサルデザインのまちづくり	9件
地域（集落）の維持について	9件
自然環境（野生動物等）について	9件
地域での支え合いについて	8件
防災・減災の取り組み	8件
自然環境（ゴミ問題）	7件
楽しみ・生きがいづくりについて	7件
通院に関する外出・移動	6件
在宅介護（支援）	4件
民生委員・児童委員	4件
声掛け、あいさつ運動	3件
世代間交流	3件
ペットの飼い方のマナー	3件
健康づくり（意識、介護予防）	2件
居場所づくり（高齢者）	2件
活動の場づくり	2件
福祉情報の発信について	2件
福祉情報の情報提供	2件
相談支援体制の充実	2件
公園の整備	2件
行政区について	2件
（経済面も含む）老後の生活	2件
「地域福祉」について（広報・啓発）	1件
「多問題家庭」について	1件
市等からのアウトリーチへの要望	1件
障害のある人の働き場	1件
障害のある人の自己選択について	1件
福祉人材の育成	1件
医療機関について	1件
その他	49件

## 第 3 章 資料（調査票）

---



# 南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画 策定のための市民アンケート調査

## ～ご協力をお願い～

市民の皆さまには、日頃、市政運営および社会福祉協議会活動にご理解、ご協力をいただき、ありがとうございます。

本市および市社会福祉協議会では、平成30・31年度にかけて、市民の皆さまと市、関係機関・団体等が手を携え、誰もが心豊かに、安心して暮らし続けられるまちづくりを推進するため、(仮称)『南房総市地域福祉計画・地域福祉活動計画』策定の作業に着手したところです。その一環として、市民の皆さまが「地域」の中でどのような暮らしを送り、どのようなお考えを持っているのか等を把握するため、アンケート調査を実施させていただくことになりました。

この調査は、18歳以上の市民の皆さまの中から調査対象として無作為に1,500人の方を選ばせていただき、ご協力をお願いするものです。調査結果については統計的に処理しますので、お答えいただいた内容によって具体的な個人を特定することはありませんし、計画策定の基礎資料とする以外の目的で使用することはありません。

より有効な調査とするために、一人でも多くの皆さまのお声をおきかせいただきたいと存じます。ご多忙の折大変恐縮ですが、調査の趣旨をおくみ取りいただきご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成30年11月

南房総市長 石井 裕

社会福祉法人南房総市社会福祉協議会会長 渋谷 幸一

### ご記入にあたってのお願い

- 1 あて名のご本人が直接お答えください。ご本人が、身体の具合その他の事情でご記入できない場合は、他の方がご本人のお答えをお聞きの上、代筆されても構いません。
- 2 質問によっては回答する方を限定しているものもありますので、なるべく質問の順にお答えください。
- 3 ご記入は黒または青色の鉛筆、ボールペン、万年筆などでお書きください。
- 4 お答えは、現在の状況、お考え等に最も近いと思う回答選択肢の番号の数字を○で囲んでお示しください。
- 5 「その他」を回答したときは、後の( )内に具体的な内容をご記入ください。
- 6 ご記入いただきましたアンケート票は、同封の返信用封筒に入れて、  
**平成30年12月7日(金)までに郵便ポストに投函してください(切手は不要です。調査票や封筒へのお名前、ご住所等のご記入も不要です)。**

この調査に関してのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

南房総市 保健福祉部 社会福祉課

TEL. 0470-36-1153(内線301) / FAX. 0470-36-1133

◇「地域福祉」とは：

市民一人ひとりの生活の困りごと（生活課題）の解決や生活に望むこと（生活の質）の向上をめざす取り組み（実践）と仕組み（施策・制度）が「地域福祉」です。

私たちが暮らす「地域」は、少子高齢化やコミュニケーションの変化により、生活の困りごと（生活課題）も多様化しています。そこで「地域福祉」は、多様化する地域の課題を解決し、誰もが安心して暮らせる「福祉のまちづくり」をめざすため、市民の皆さんと市役所・社会福祉協議会などの連携・協働を重視します。

◇「地域福祉計画」とは：

「地域福祉計画」は、社会福祉法第 107 条の規定に基づき、「地域福祉」を推進する包括的な施策をとおして、その地域で暮らす皆さんの支えあい・助けあいを行政機関（各市町村）が支援する計画です。

高齢者や障害のある人たちを対象にした行政計画（高齢者福祉計画や障害福祉計画等）と異なり、「地域福祉計画」は、その地域で暮らすすべての人たちを支援する行政計画です。

◇「地域福祉活動計画」とは：

「地域福祉活動計画」は、市民の皆さんが生活の困りごと（生活課題）や生活に望むこと（生活の質）に気づき、その解決や向上をめざす取り組みについて考え、地域全体で市民の皆さんが支え合い・助け合いに取り組むことをめざします。

社会福祉法第 109 条で「地域福祉の推進団体」とされる「社会福祉協議会」が、計画づくりと実践を支援します。







⑨高齢者が憩える場所が充実している	1	2	3	4
⑩買い物に行くのに不自由しない	1	2	3	4
⑪地域の福祉サービスが、ほぼ足りている	1	2	3	4

問3 お住まいの地域に、今後も住み続けたいですか。(1つに○)

- |               |                |      |
|---------------|----------------|------|
| 1 ずっと住み続けたい   | 2 当分は住み続けたい    | →問4へ |
| 3 できれば市外に移りたい | 4 すぐにでも市外に移りたい | →問5へ |

問4 問3で「1 ずっと住み続けたい」「2 当分は住み続けたい」と答えた方がお答えください。 住み続けたい理由は、次のどれですか。(3つまでに○)

- |                     |
|---------------------|
| 1 生まれ育った地域のため       |
| 2 持ち家があるため          |
| 3 (自分や家族の) 仕事や通学のため |
| 4 親や親類の介護のため        |
| 5 自然環境が豊かなため        |
| 6 人間関係が良好なため        |
| 7 行政サービスが良いため       |
| 8 経済的な問題のため         |
| 9 その他 ( )           |

→問6へ

問5 問3で「3 できれば市外に移りたい」「4 すぐにでも市外に移りたい」と答えた方がお答えください。 市外に移りたい理由は、次のどれですか。(3つまでに○)

- |                     |
|---------------------|
| 1 (自分や家族の) 仕事や通学のため |
| 2 住宅に不満(老朽化)があるため   |
| 3 日常生活が不便なため        |
| 4 親や親類の介護のため        |
| 5 人間関係がわずらわしいため     |
| 6 人付き合いがないため        |
| 7 行政サービスが使いにくい      |
| 8 経済的な問題のため         |
| 9 その他 ( )           |

### Ⅲ 日常生活で困っていることについて

問6 日常生活の中で困っていること、悩みを感じていることは、次のどれですか。(3つまでに○)

- |                          |        |
|--------------------------|--------|
| 1 仕事(学校生活)に関すること         | } →問7へ |
| 2 自分の健康に関すること            |        |
| 3 家族の健康や介護に関すること         |        |
| 4 子育てに関すること              |        |
| 5 近隣(地域)のトラブル、人間関係に関すること |        |
| 6 家族(親戚)のトラブル、人間関係に関すること |        |
| 7 将来の生活に関すること            |        |
| 8 経済的なこと                 |        |
| 9 その他( )                 |        |
| 10 特にない →問8へ             |        |

問7 「問6」で「10 特にない」と答えた方以外の方がお答えください。問6で回答した困っていることや悩みを、誰(どこ)に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- |                          |
|--------------------------|
| 1 家族                     |
| 2 親戚                     |
| 3 職場の人                   |
| 4 友人、知人                  |
| 5 近隣(地域)の人               |
| 6 市役所                    |
| 7 社会福祉協議会                |
| 8 民生委員・児童委員              |
| 9 行政区(班、組)の役員            |
| 10 医師や保健師など              |
| 11 地域包括支援センター(高齢者相談センター) |
| 12 ホームヘルパー、ケアマネージャー      |
| 13 安房地域生活支援センター          |
| 14 インターネットの相談窓口(掲示板)など   |
| 15 その他の人(機関)( )          |
| 16 相談相手がいない              |
| 17 どこに相談したらいいかわからない      |
| 18 誰にも相談したいと思わない         |

## Ⅳ ご近所付き合いについて

問 8 ご近所との付き合いは、どの程度していますか。(1つに○)

- 1 お互いに訪問し合う
- 2 何か困った時に助け合える
- 3 立ち話をする
- 4 あいさつをする
- 5 ほとんど付き合いはない

問 9 ご近所付き合いは、地域の暮らしやすさに影響すると思いますか。(1つに○)

- |                 |                |
|-----------------|----------------|
| 1 大きく影響する       | 2 どちらかと言えば影響する |
| 3 どちらかと言えば影響しない | 4 影響しない        |

問 10 ご近所付き合いの関係を、今後どうしていきたいですか。(1つに○)

- 1 ご近所付き合いを深めたい
- 2 現状のままでよい
- 3 ご近所付き合いをなるべくしたくない
- 4 ご近所付き合いをやめたい

## Ⅴ 支え合い・助け合いについて

問 11 お住まいの地域では、住民同士の支え合いが行われていると思いますか。(1つに○)

- |                |              |
|----------------|--------------|
| 1 思う           | 2 どちらかと言うと思う |
| 3 どちらかと言うと思わない | 4 思わない       |

問 12 地域で困っている人がいたら、助けようと思いますか。(1つに○)

- 1 積極的に助けようと思う
- 2 助けようと思う
- 3 あまり助けようと思わない
- 4 助けようと思わない

問 13 地域に困っている人がいた場合、「頼まれ」たらできると思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 近隣への声かけや安否確認
- 2 ごみ出し
- 3 買い物の手伝い
- 4 子どもの預かり
- 5 保育園や習い事への送り迎え
- 6 病院への付き添いなど外出の手伝い
- 7 話し相手
- 8 書類の確認や各種手続きの代行
- 9 家事援助(食事作りや掃除など)
- 10 電球や蛍光灯などの交換
- 11 草取り(草刈り)や庭の手入れ
- 12 その他( )
- 13 できることはない・頼まれてもしたくない

問 14 問 12 で「3 あまり助けようと思わない」「4 助けようと思わない」と答えた方がお答えください。(あまり) 助けようと思わない理由は何ですか。(1つに○)

- 1 仕事(学校)や家事などで忙しく、時間がないから
- 2 地域の人を知らないから
- 3 地域の中で、仲の良い人、気の合う人がいないから
- 4 あまり関わりを持ちたくないから
- 5 その他( )

## Ⅵ 地域活動(ボランティア活動を含む)について

問 15 地域の行事や活動(※ボランティア活動を含む)に参加していますか。(1つに○)

- |                     |          |
|---------------------|----------|
| 1 積極的に参加(協力)している    | } →問 16へ |
| 2 時々参加(協力)している      |          |
| 3 関心はあるが参加(協力)していない | } →問 17へ |
| 4 参加(協力)していない       |          |



問 18 問 16 で挙げたような活動が、地域でもっと活発に行われるためには、何が大切だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 住民同士が困ったときの、助け合いの関係を深めること
- 2 あいさつができる程度の顔見知りの関係を広げること
- 3 転入者など新たに住む人との関係づくりを強化すること
- 4 地域の学校と住民の交流を深めること
- 5 地域の会社・企業等と住民の交流を深めること
- 6 交流の機会となるさまざまな地域行事を増やすこと
- 7 その他 ( )
- 8 特に思いつかない

問 19 現在の、地域福祉に関する住民と市役所との「協働」の関係(一緒に作り上げる関係)について、どう思いますか。(1つに○)

- 1 良い関係ができている
- 2 どちらかと言うと、良い関係ができている
- 3 どちらかと言うと、良い関係ができていない
- 4 良い関係ができていない

**協働**：

市民が相互に、または市民と行政が、お互いに共通する目的の実現や地域課題の解決のために、各々の資源や特性をいかして役割と責任を分担しながら、ともに連携・協力して取り組みを進めること。

## Ⅶ 防災について

問 20 地域の防災訓練(防災行事)に参加していますか。(1つに○)

- 1 参加している
- 2 参加していない
- 3 実施されていない

問 21 災害が起きた場合について不安に思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

- 1 災害に備えた用意ができていない
- 2 避難する場所がわからない
- 3 避難した場合に、避難所での生活に不安がある
- 4 障害や高齢の方(\*自分を含む)が一人で避難ができるか不安
- 5 日中は離れているため、家族が避難できているか不安
- 6 定期的な通院や常備薬の確保等ができるか不安
- 7 頼る人がいない
- 8 その他 ( )
- 9 特に不安に思うことはない

問 22 ご近所に、災害が起きたら避難支援が必要と思われる方はいますか。また、いる場合、それはどのような方ですか。(あてはまるものすべてに○)

- |       |          |             |
|-------|----------|-------------|
| 1 高齢者 | 2 障害のある人 | 3 乳幼児がいる親の方 |
| 4 妊婦  | 5 いない    | 6 分からない     |

問 23 問22で「1 高齢者」～「4 妊婦」と答えた方がお答えください。その人たちに対して、何か支援の行動をしたことはありますか。また、ある場合、それはどのようなことでしたか。(あてはまるものすべてに○)

- |                                 |
|---------------------------------|
| 1 日頃から声かけなどを行っている               |
| 2 災害時のことで話し合ったことがある             |
| 3 行政区(班、組)の役員に避難支援について話をしたことがある |
| 4 民生委員・児童委員に避難支援について話をしたことがある   |
| 5 何もしていない                       |
| 6 その他( )                        |

## VIII 「成年後見制度」について

問 24 「成年後見制度」について知っていましたか。(1つに○)

- |                    |
|--------------------|
| 1 知っていた            |
| 2 よく知らないが、聞いたことはある |
| 3 知らなかった           |

### 成年後見制度:

判断力が不十分な成年者(知的障害者、精神障害者、認知症の高齢者等)が不利益を被らないように家庭裁判所に申し立てをし、その方を援助してくれる人(「後見人」)を付けて、財産管理や福祉サービスの利用などを任せる制度。

問 25 万一、自分自身の判断能力が不十分になった場合、「成年後見制度」に基づいて自身の財産等を「成年後見人」に任せることについて、どのように思いますか。(1つに○)

- |                      |                |
|----------------------|----------------|
| 1 任せてもよい →問26へ       | 2 任せたくない →問27へ |
| 3 分からない・判断できない →問27へ |                |









- 14 広報活動（広報誌『てんだあ』の発行、ホームページの情報提供、声の広報など）
- 15 車いすの貸出事業、リサイクル事業
- 16 移送サービス事業
- 17 『ちくら介護予防センターゆらり』の指定管理
- 18 ささえあいネットワーク（協議体）と生活支援コーディネーターの配置
- 19 応急援護資金事業（災害見舞金の支給）
- 20 「ふれあい（お達者）サロン」支援
- 21 みなみんおたすけサービス（有料生活支援サービス）
- 22 生活困窮者自立支援事業
- 23 その他（ ）

問 35 社会福祉協議会が行う活動として、今後、充実させてほしいものは何ですか。（3つまでに○）

- 1 ボランティア活動への参加促進と支援
- 2 住民による見守りや支え合い活動への支援
- 3 隣近所や行政区（班、組）など、交流活動への支援
- 4 気軽に相談できる「福祉総合相談」の充実
- 5 在宅生活の福祉サービスの充実
- 6 地域住民への福祉に関する普及啓発
- 7 学校における福祉体験学習の推進
- 8 福祉サービスに関する情報発信の充実
- 9 その他（ ）

### XⅢ 「地域福祉（福祉のまちづくり）」について

問 36 日常生活で自分自身が困ったときに、民間の事業所（団体）が有料で代行してくれるとしたら、頼みたいことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- 1 自分自身の安否確認
- 2 買い物
- 3 ごみ出し
- 4 子どもの預かり
- 5 子どもの保育園（習い事）への送り迎え
- 6 外出の付き添い（通院、買い物など）
- 7 家事援助（食事、掃除など）
- 8 書類の確認や各種手続きの代行
- 9 電球や蛍光灯などの交換
- 10 草取り（草刈り）や庭の手入れ
- 11 その他（ ）
- 12 特にない

問 37 今後、地域福祉を推進していくためには、市と民間団体と住民の関係で、何が必要だと考えますか。(1つに○)

- 1 市が中心になって取り組む
- 2 民間団体(社会福祉協議会)が中心になって取り組む
- 3 民間団体(福祉施設・事業所など)が中心になって取り組む
- 4 地域住民が中心になって取り組む
- 5 市・民間・地域住民が協力して取り組む
- 6 その他( )

問 38 今後、南房総市で「福祉のまちづくり」を進めるためには、どんなことが重要だと思いますか。(5つまでに○)

- 1 相談支援体制の整備
- 2 社会福祉施設での地域住民との交流
- 3 わかりやすい福祉情報の提供
- 4 地域内の福祉サービスの連携
- 5 在宅サービスの充実
- 6 保健・医療・福祉の連携
- 7 福祉サービスを受ける人の権利を守ること
- 8 福祉教育の充実
- 9 ボランティア、地域活動による生きがいづくり
- 10 だれにでも使いやすい施設の充実
- 11 災害時・緊急時の防災・安全対策の充実
- 12 心と体の健康づくり
- 13 ボランティアの養成
- 14 専門的人材の交流
- 15 地域住民の交流・助け合い
- 16 市の福祉の予算の増額を図ること
- 17 その他( )

問 39 最後に、あなたが普段困っていることや、あなたが地域でやってみたい活動など、自由にお書きください。


質問は以上です。本調査にご協力くださり、誠にありがとうございました。